Ⅱ　設問と回答分布

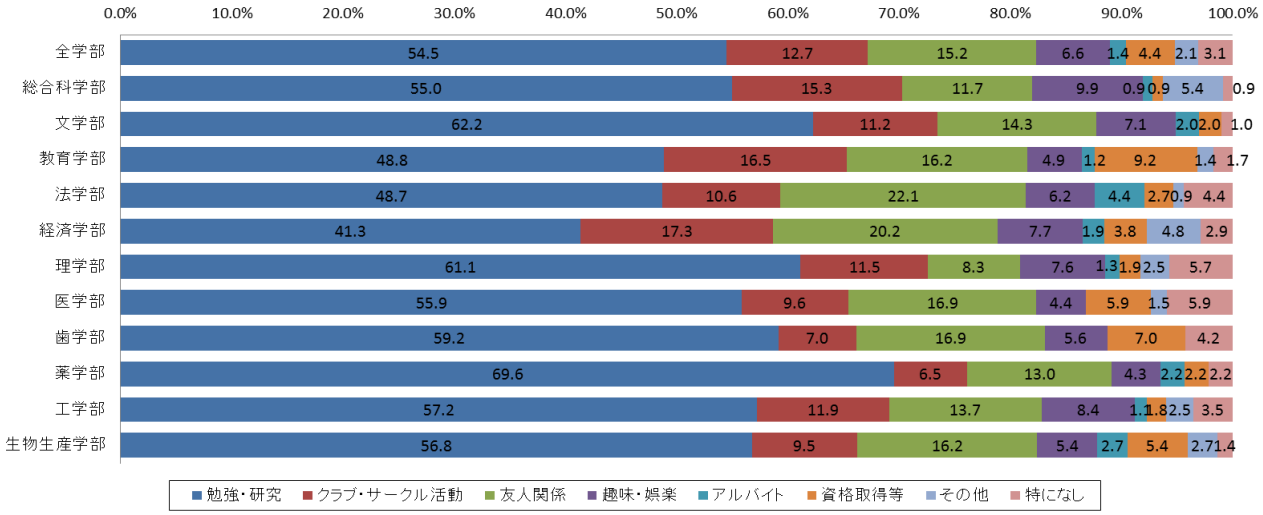
学部

1　大学生活において大切にしているもの

設問１　大学生活において何を大切にしていますか。

全体として「勉強・研究」（54.5%）を学生生活において最も優先している学生が多い。これに続いて，「友人関係」（15.2%）や「クラブ・サークル活動」（12.7%）を最優先とする学生も少なくない。これらの傾向は，前回（H24 年）とほぼ同様である。

学部別にみると，総合科学部と生物生産学部で「勉強・研究」が前回（H24 年）より 10 ポイント程度上昇している。歯学部では，「友人関係」（16.9%）が 2 倍以上に増えている。

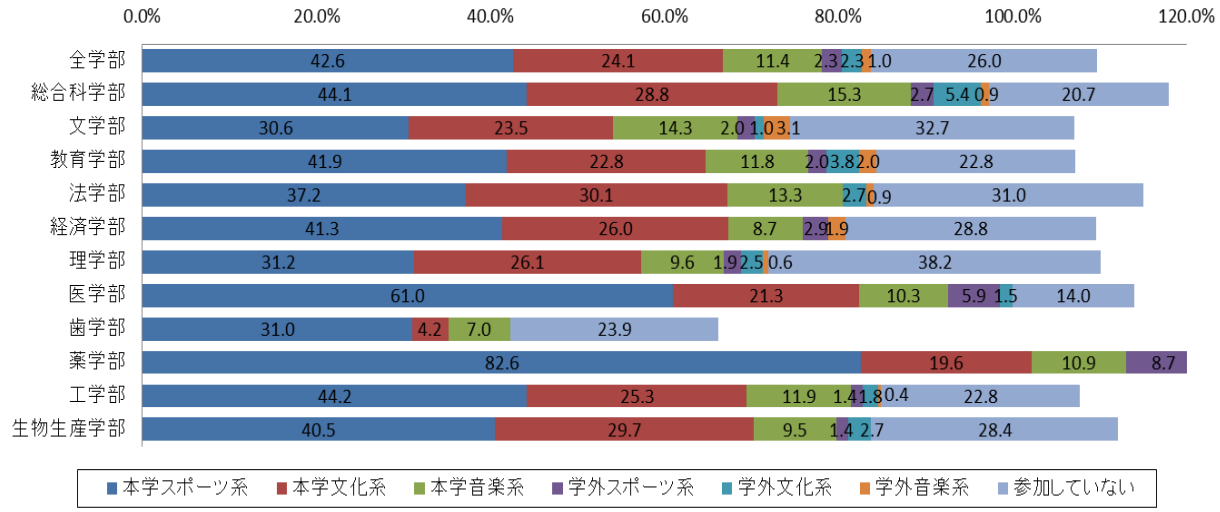


2　学内外のクラブ・サークル活動への参加

設問２　学内外のクラブやサークル活動に参加していますか。（複数回答可）

前回（H24）と同様，全体として 7 割を超える学生が何らかのクラブ・サークル活動に参加しており，その大部分が学内にあるクラブ・サークルでの活動である。

学部別にみると，参加していない学生が 3 割を超えるのは文学部，法学部，理学部であり，前回（H24）の 5 学部から減少した。

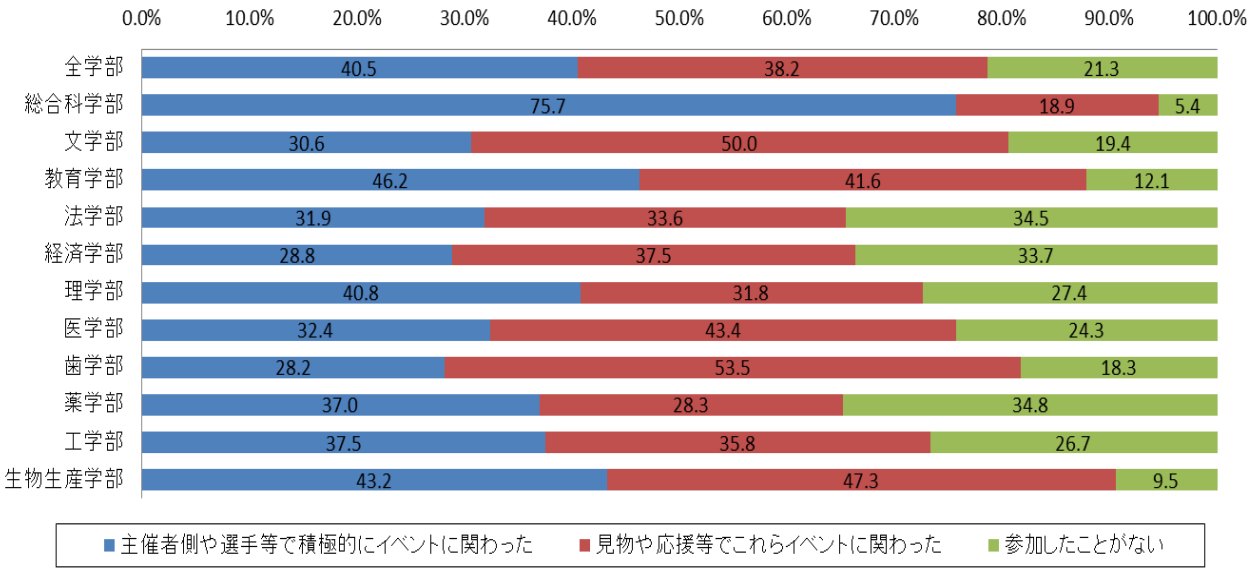


3　大学の行事への参加

設問 3　大学祭，ゆかたまつり，フェニックス駅伝等の大学の行事に参加したことがありますか。

前回（H24）と同様，全体として 8 割以上の学生が何らかの形で大学行事に関わっている。参加形態では，「見物や応援等でこれらのイベントに関わった」学生（38.2%）がやや減少し，「主催者側や選手等で積極的にイベントに関わった」学生（40.5%）が少し増える傾向にある。

学部別にみると，総合科学部，教育学部及び生物生産学部で行事への参加率が高く，この傾向は前回（H24）とほぼ同じである。

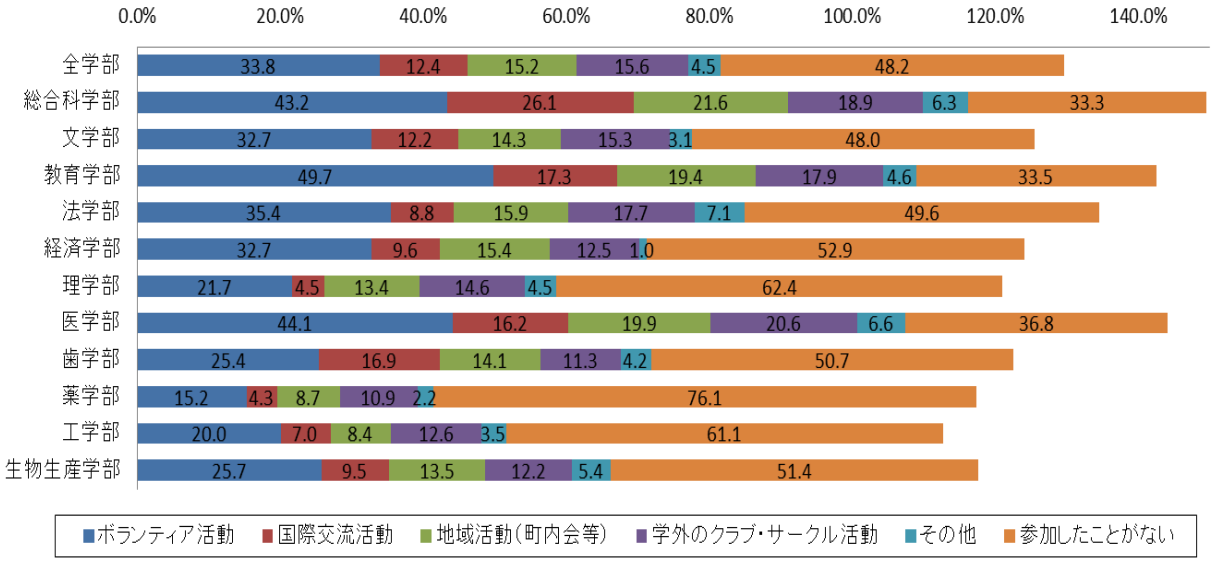


4　ボランティアや地域活動への参加

設問 4　ボランティア活動や地域の活動に参加したことがありますか。（複数回答可）

前回（H24）と比較して，全体としてボランティア活動や地域の活動に参加したことがある学生が 6 ポイント程度増えている。特に，「ボランティア活動」（33.8%）への参加が増えている。

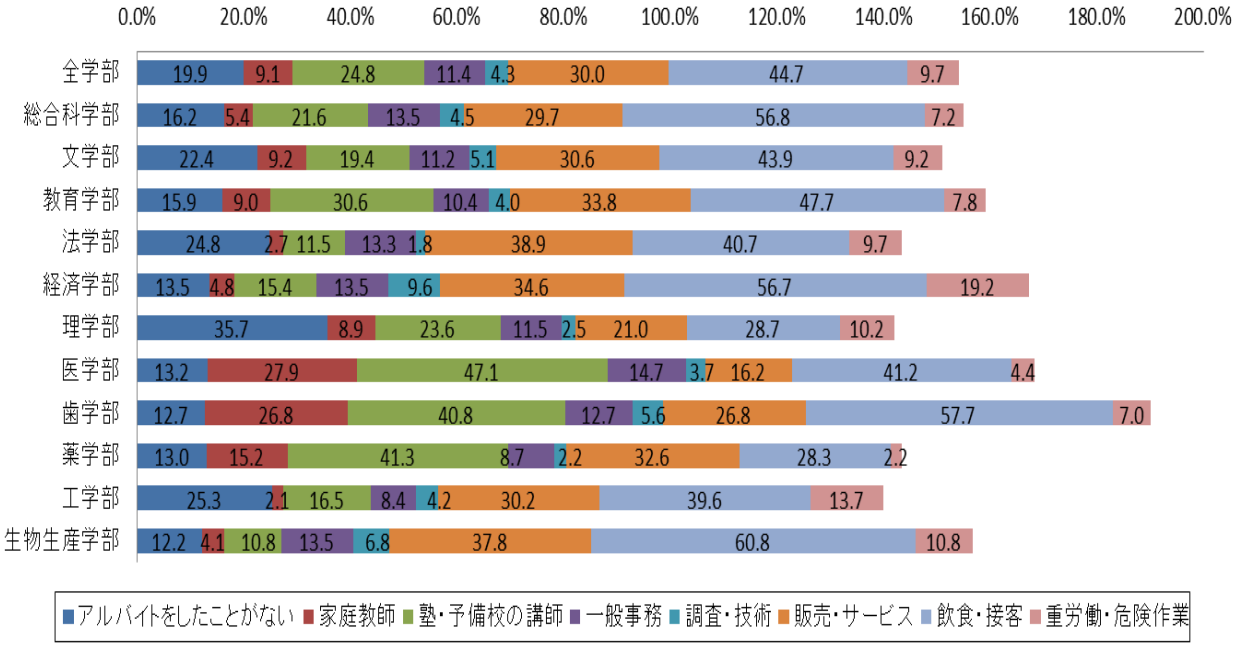
学部別にみると，歯学部と薬学部で前回（H24）よりも不参加者の割合がわずかに増えているが，全体的には積極的に「ボランティア活動」や「地域活動」，「国際交流活動」に参加する傾向にある。8 月にあった広島土砂災害時のボランティア活動等が反映した結果であると思われる。



５　アルバイト

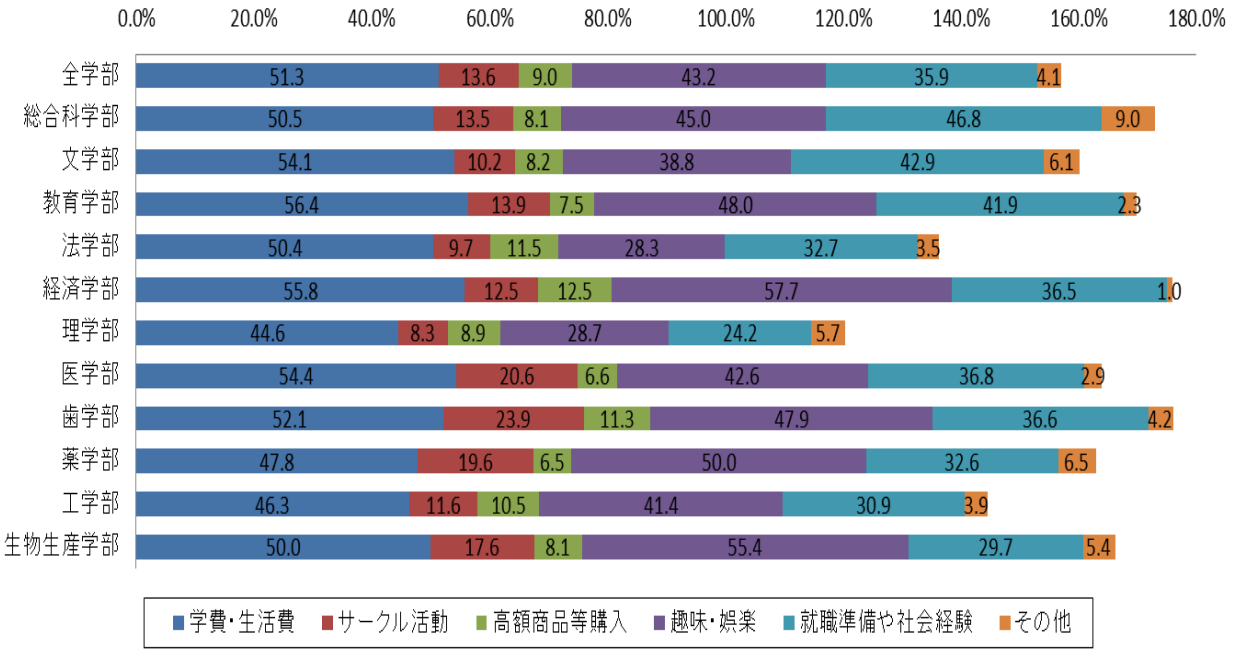
設問５　入学後何らかのアルバイトに就業したことがありますか。（複数回答可）

アルバイト経験者は，全体で約 80%。職種としては，飲食・接客（44.7%），販売・サービス（30.0%），塾・予備校の講師（24.8%）が上位３職種である。その一方で，理学部では３割５分，工学部・法学部・文学部では約２割を超える学生がアルバイト経験なしと回答している。



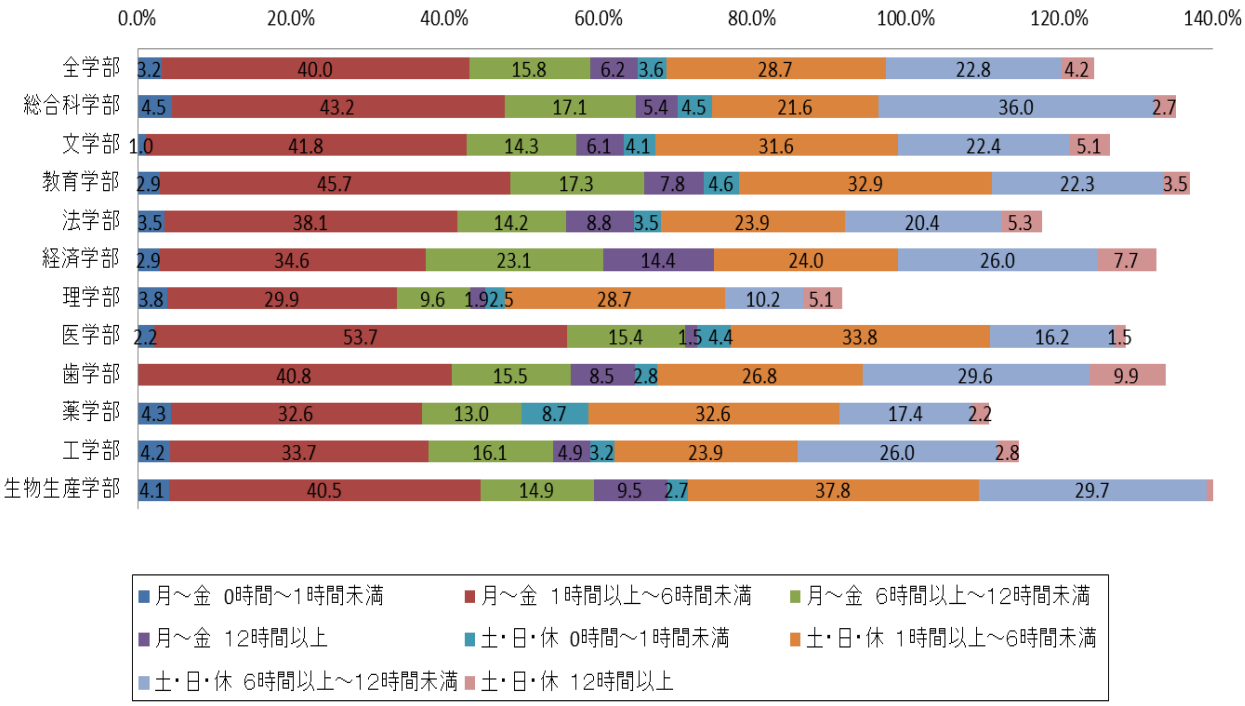
設問６　アルバイトの主な目的は何ですか。（複数回答可）

アルバイトの目的は，学費・生活費（51.3%），趣味・娯楽（43.2%），就職準備や社会経験（35.9%）が上位３つの理由である。学費・生活費のためとする理由は前回調査より若干増加している。



設問７　アルバイトに充てている時間を「月曜から金曜」,「土曜 及び 日曜・休日」それぞれの中からーずつ選択してください。

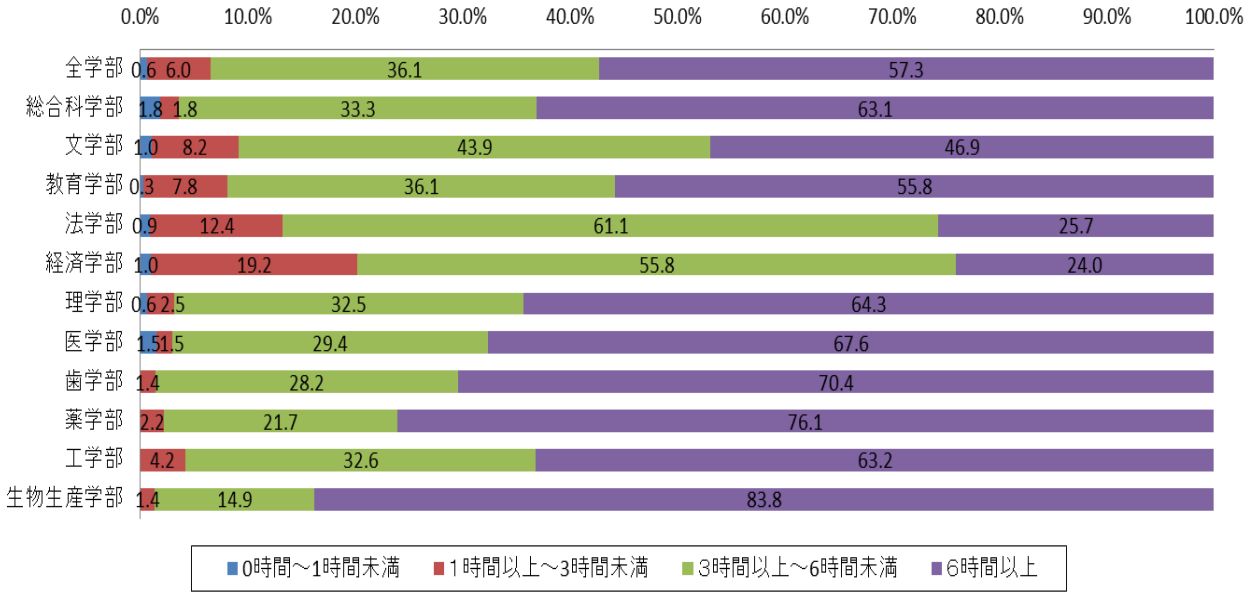
アルバイトに充てている時間は,「月曜から金曜の１時間以上６時間未満」(40.0%),「土日休の１時間以上６時間未満」(28.7%),「土日休の６時間以上１２時間未満」(22.8%) の順に多い。



６　大学構内での滞在時間・場所について

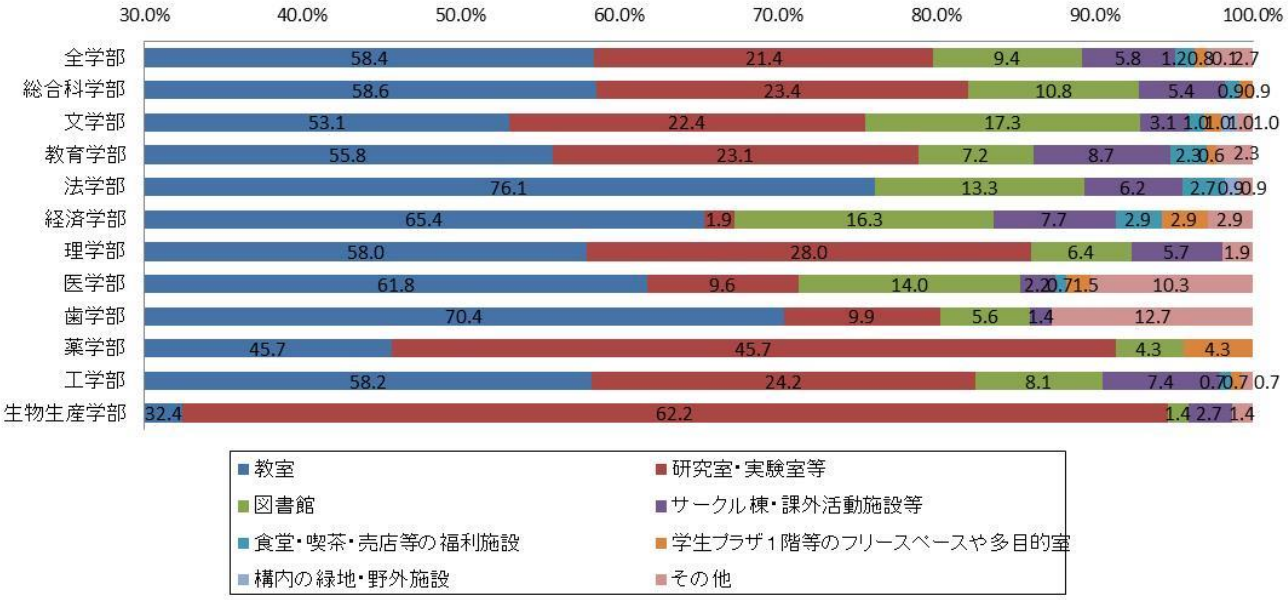
設問８　大学構内にどれくらいの時間滞在していますか。

全体では，57.3%の学生が６時間以上構内に滞在している。学部別にみてみると，多い順に生物生産学部，薬学部，歯学部，医学部，理学部，工学部となり，少ないのは，経済学部，法学部，文学部となっている。理系学部の学生の方が文系学部に比べ長時間滞在しているという傾向は前回調査と同じである。



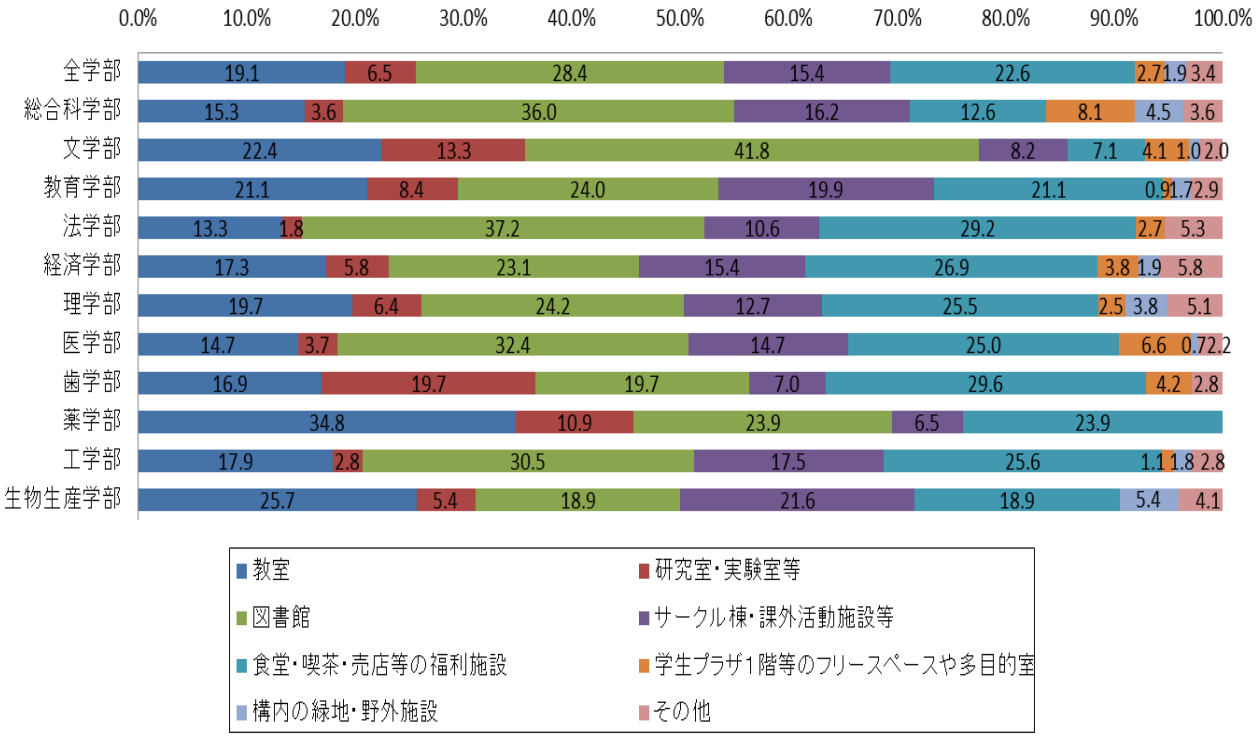
設問 9　大学構内の滞在時間のうち，1 番多く滞在している場所はどこですか。

大学内で一番長く滞在している場所を見てみると，全体では，教室（58.4%），研究室・実験室等（21.4%），図書館（9.4%）の順である。　※グラフの目盛りの最小値は 30%



設問 10　大学構内の滞在時間のうち，2 番目に多く滞在している場所はどこですか。

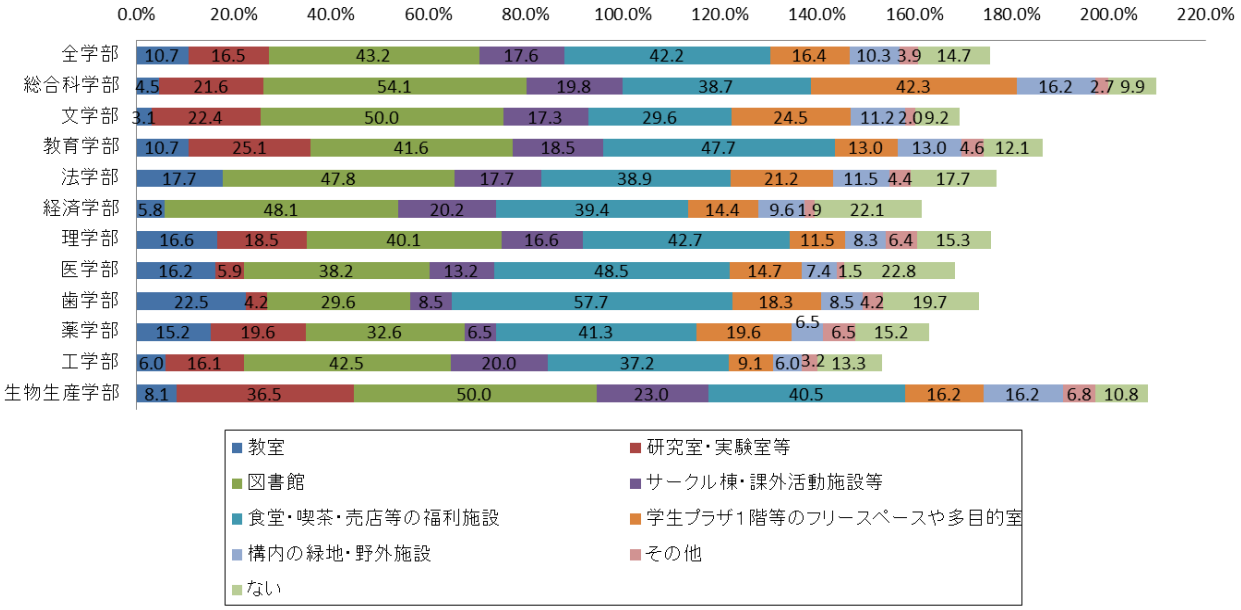
大学内で 2 番目に長く滞在している場所は，全体では図書館（28.4%），食堂・喫茶・売店等の福利施設（22.6%），教室（19.1%），サークル棟・課外活動施設等（15.4%）となっている。



7　大学構内でくつろいで過ごせる場所

設問 11　大学内にくつろいで過ごせる場所はありますか。（複数回答可）

大学構内でくつろいで過ごせる場所は，全体では図書館（43.2%），食堂・喫茶・売店等の福利施設（42.2%），サークル棟・課外活動施設等（17.6%），研究室・実験室等（16.5%）の順である。西条キャンパスでは，理学部生を除き，福利施設よりも図書館でくつろげると回答した学生が多い。霞キャンパスでは，福利施設でくつろげると回答した学生が多い。

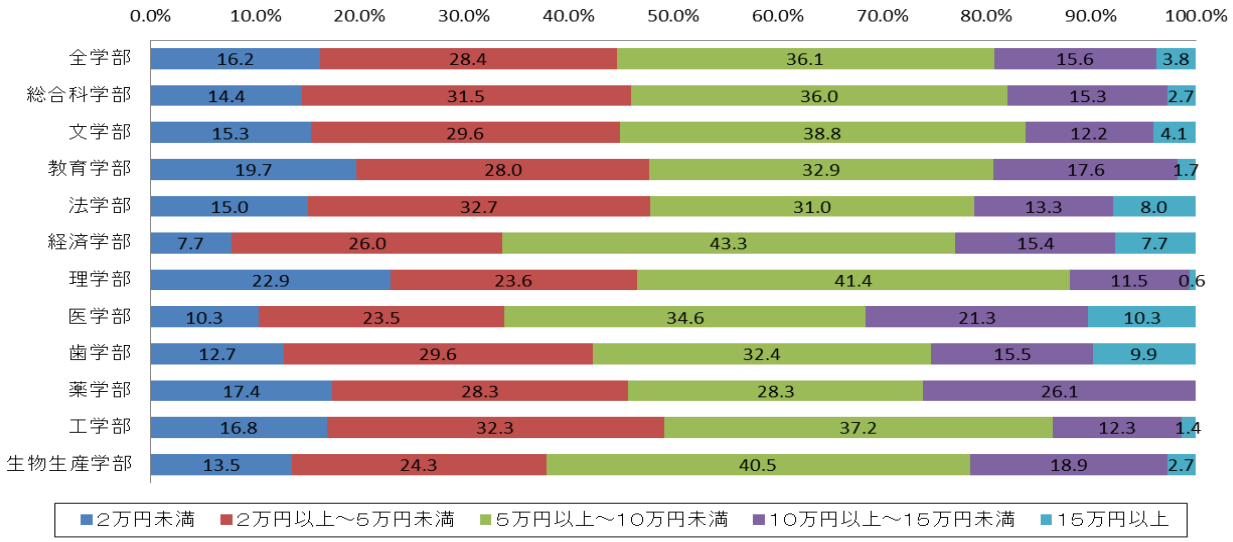


8　1ヶ月の生計費（収入・支出）

設問 12　1ヶ月の収入はいくらですか。

1ヶ月の生計費（収入）について，全学部で見た場合，5万円以上～10万円未満が 36.1%と最も多くなっている。これに次いで 2 万円以上～5 万円未満（28.4%），2 万円未満（16.2%），10 万円以上～15 万円以上（15.6%）などとなっている。0～5 万円未満（2 万円未満＋2 万円以上～5 万円未満：今回調査からより詳細な生計費（収入）の把握ために選択肢が先のように詳細化されている）の比率に注目し，過去二回の調査との比較を行うと，生計費（収入）が 5 万円未満の学生の比率が大幅に増加（前々回調査 27.7%→前回調査 32.3%→44.6%）してきていることもわかった。

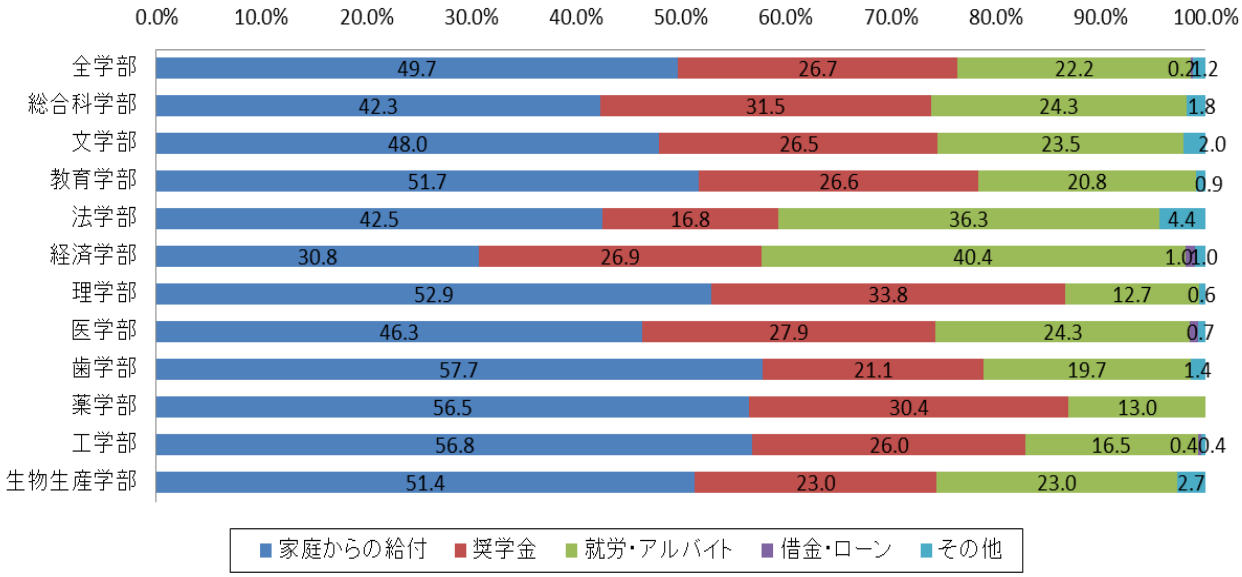
学部別に見ると，理学部，教育学部，薬学部などで 2 万円未満の比率が高くなるっていることがわかる。



設問 13　1 ヶ月の収入のうち，1 番多い収入は，次のどれですか。

1 ヶ月の生計費（収入）のうち 1 番目に多い収入について，全学部で見た場合，家庭からの給付（49．7%）が最も大きくなっている。次いで奨学金（26.7%），就労・アルバイト（22.2%），その他（1.2%），借金・ローン（0.2%）の順となっている。

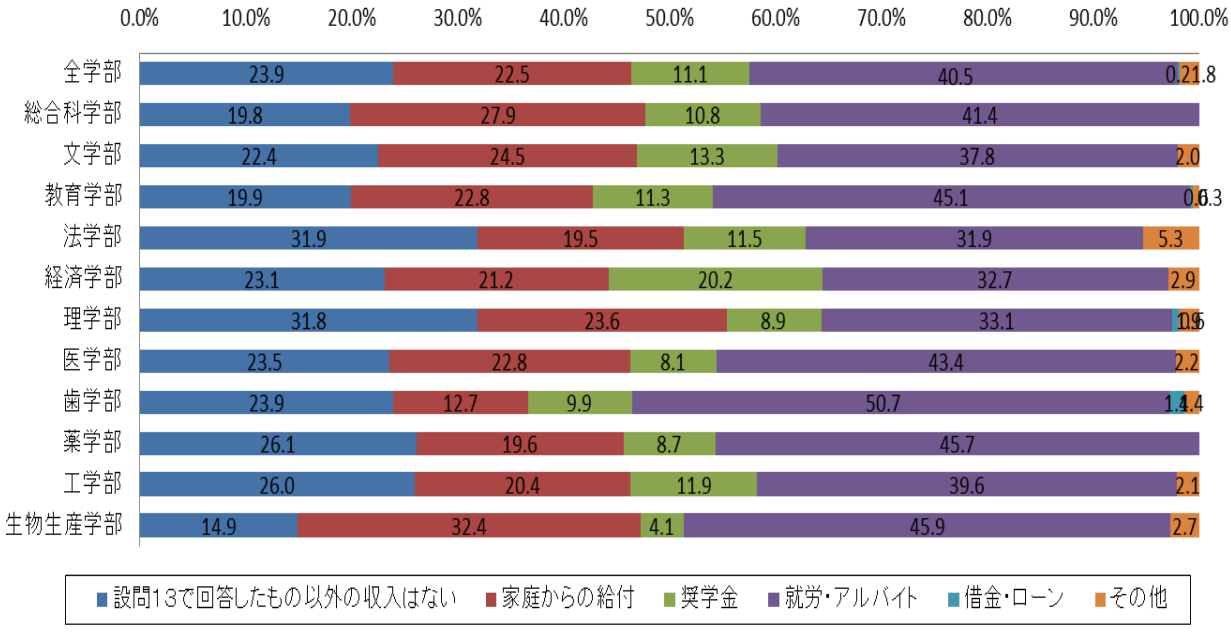
学部別に見た場合，歯学部，工学部，薬学部，理学部の順で家庭給付の比率が高い一方で，奨学金の比率については，理学部，総合科学部，薬学部で 3 割を超えている。就労・アルバイトの比率については，経済学部・法学部が特に高く，3 割を超えている。



設問 14　1 ヶ月の収入のうち，2 番目に多い収入は，次のどれですか。

1 ヶ月の生計費（収入）のうち 2 番目に多い収入について，全学部で見た場合，就労・アルバイト（40.5%）が最も大きくなっている。次いで「設問 13 で回答した以外の収入はない」（23.9%），家庭給付（22.5%），奨学金（11.1%），その他（1.8%），借金・ローン（0.2%）の順となっている。

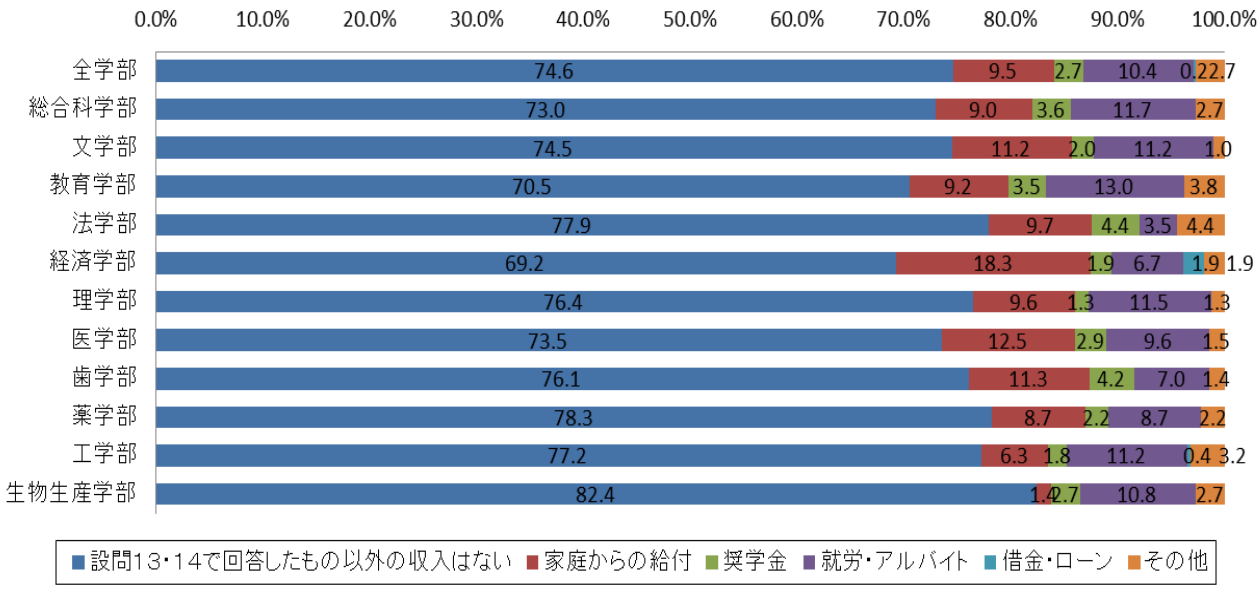
学部別に見た場合，歯学部で就労・アルバイトの比率が 5 割を超えている一方で，法学部，経済学部，理学部では 3 割強にとどまる。



設問 15　1 ヶ月の収入のうち，3 番目に多い収入は，次のどれですか。

1 ヶ月の生計費（収入）のうち 3 番目に多い収入について，全学部で見た場合，「設問 13・14 で回答した以外の収入はない」(74.6%) が最も大きくなっている。次いで就労・アルバイト (10.4%)，家庭給付（9.5%），奨学金（2.7%），その他（2.7%），借金・ローン（0.2%）の順となっている。

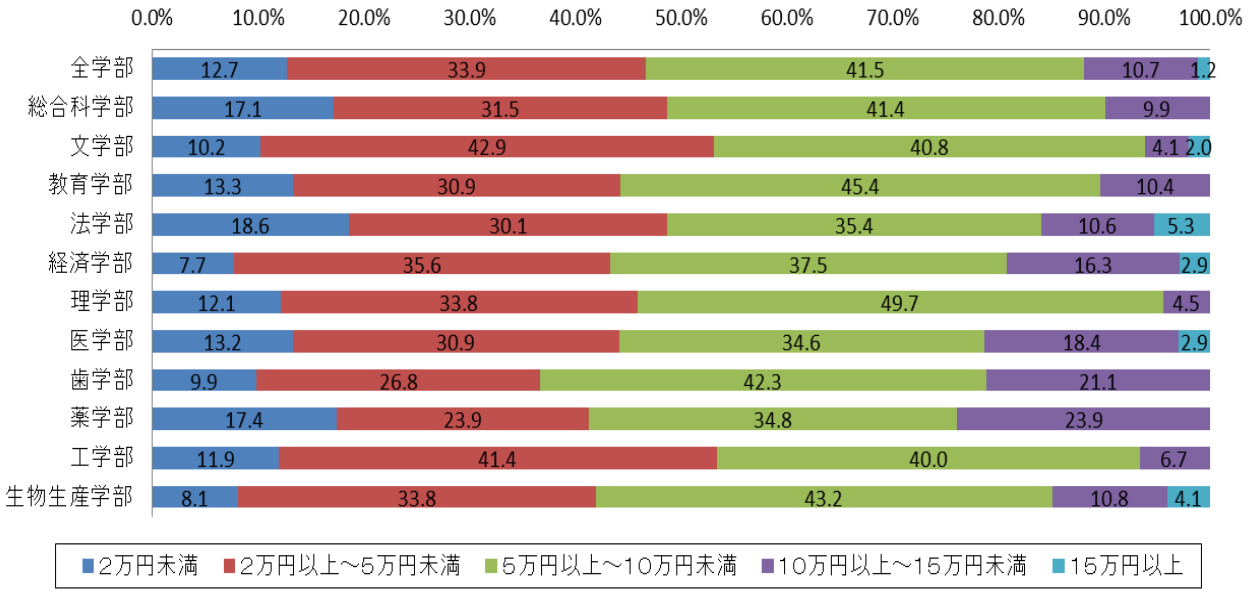
学部別に見た場合，ほとんどの学部で「設問 13・14 で回答した以外の収入はない」が 7 割を超えている。



設問 16　1 ヶ月の支出はいくらですか。

1 ヶ月の生計費（支出）について，全学部で見た場合，5 万円以上～10 万円未満（41.5%）が最も多くなっている。次いで 2 万円以上～5 万円未満（33.9%），2 万円未満（12.7%）などとなっている。また過去 2 回の調査と比較して，5 万円以上～10 万円未満の比率が減少（前々回調査 53.8%→前回調査 51.7%→41.5%）し，5 万円未満（2 万円未満＋2 万円以上～5 万円未満）の比率が高まっている（前々回調査 34.2%→前回調査 40.2%→46.6%）。結果として，生計費（支出）の減少が生じていることが明らかになった。

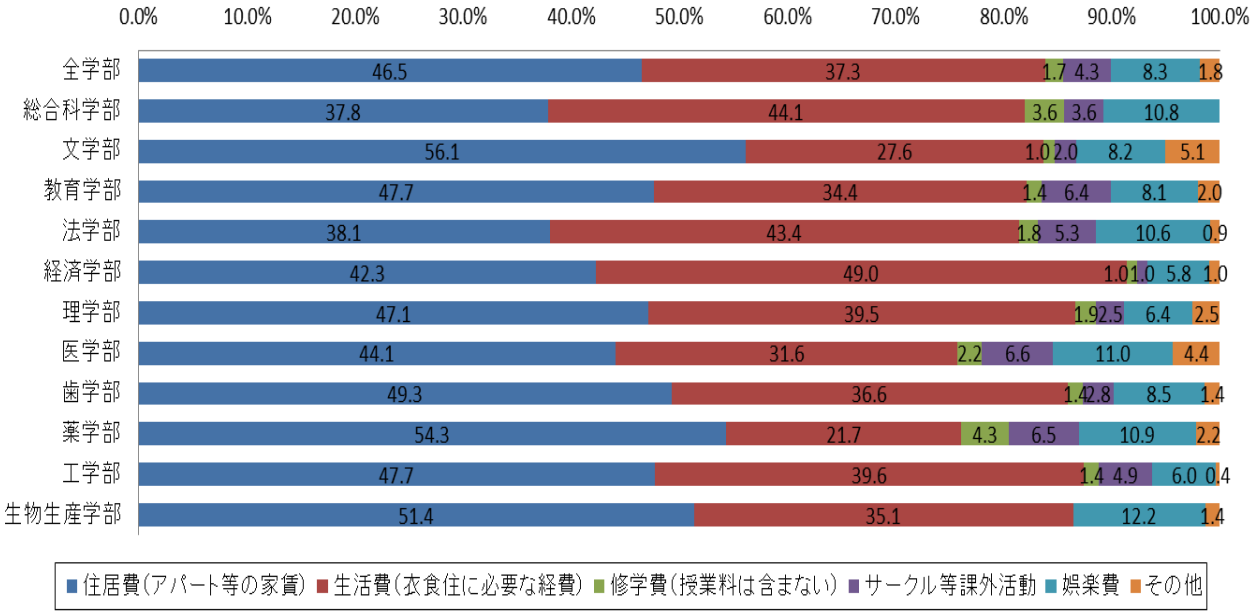
学部別に見ると，5 万円未満の比率が高いのは，工学部・文学部・法学部・総合科学部などとなっている。



設問 17　１ヶ月の支出のうち，１番多く必要とする経費は何ですか。ただし，授業料は含みません。

１ヶ月の生計費（支出）のうち，１番多く必要とする経費について，全学部で見た場合，住居費（アパートの家賃）（46.5%），生活費（衣食住に必要な経費）（37.3%），娯楽費（8.3%），サークル等課外活動（4.3%），その他（1.8%），修学費（1.7%）の順となる。

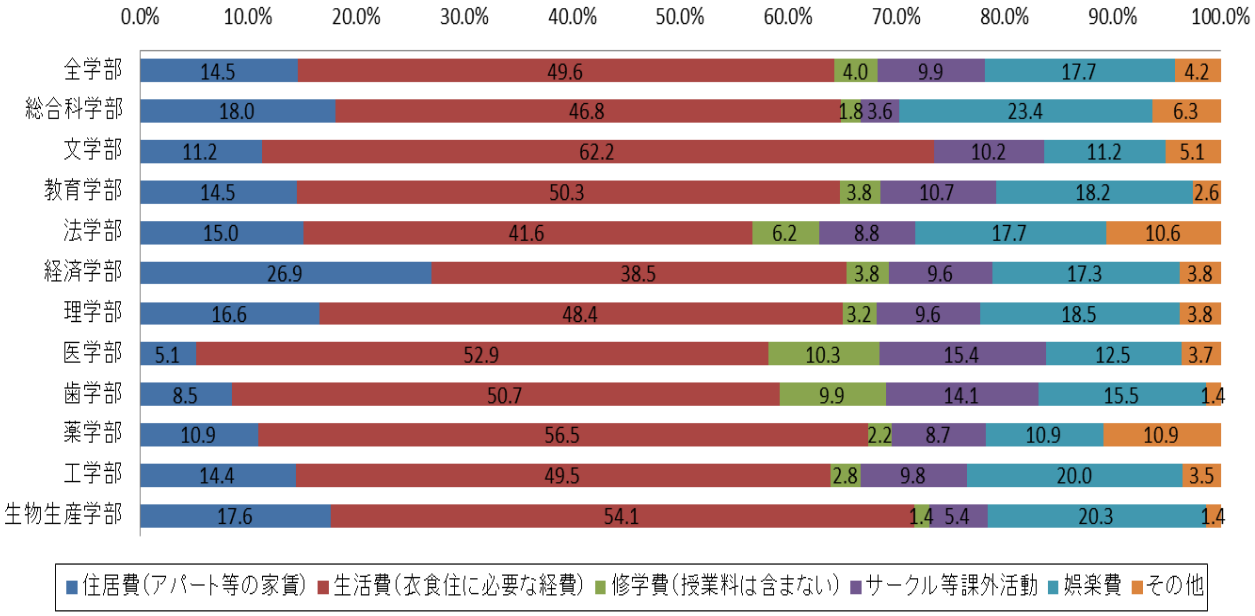
学部別にみると，ほとんどの学部で住居費の比率が５割を超えていることがわかる。



設問 18　１ヶ月の支出のうち，2 番目に多く必要とする経費は何ですか。ただし，授業料は含みません。

１ヶ月の生計費（支出）のうち，２番目に多く必要とする経費について，全学部で見た場合，生活費（衣食住に必要な経費）（49.6%），娯楽費（17.7%），住居費（アパートの家賃）（14.5%），サークル等課外活動（9.9%），その他（4.2%），修学費（4.0%）の順となる。

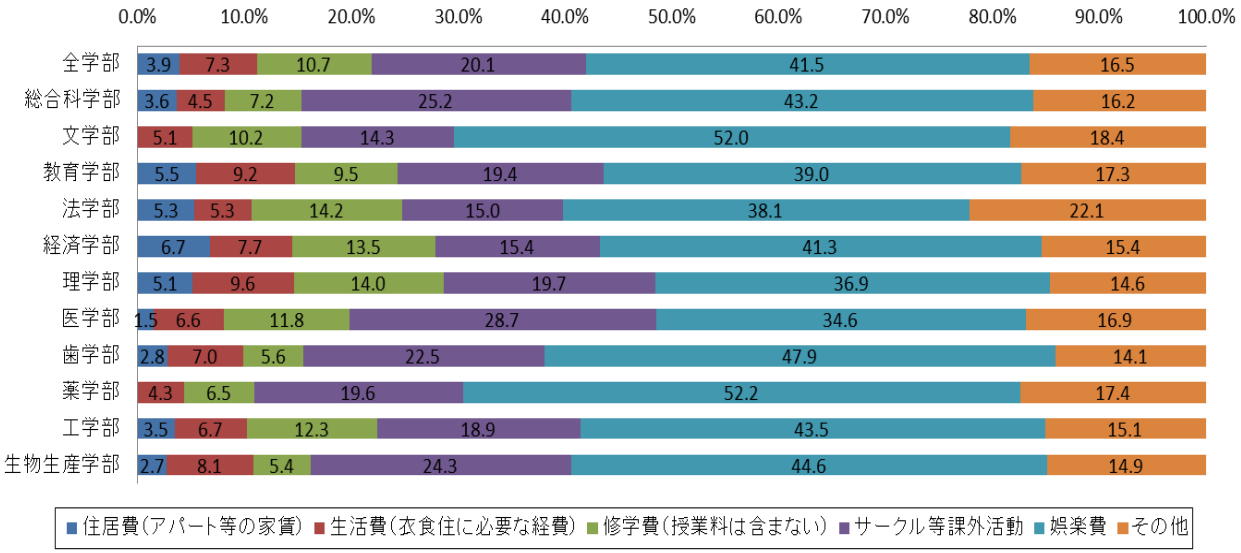
学部別にみると，生活費と回答する比率が５割を超えている学部が過半数となっている。



設問 19　1ヶ月の支出のうち,3番目に多く必要とする経費は何ですか。ただし，授業料は含みません。

1ヶ月の生計費（支出）のうち，3番目に多く必要とする経費について，全学部で見た場合，娯楽費（41.5%），サークル等課外活動（20.1%），その他（16.5%），修学費（10.7%），生活費（衣食住に必要な経費）（7.3%），住居費（アパートの家賃）（3.9%）の順となる。

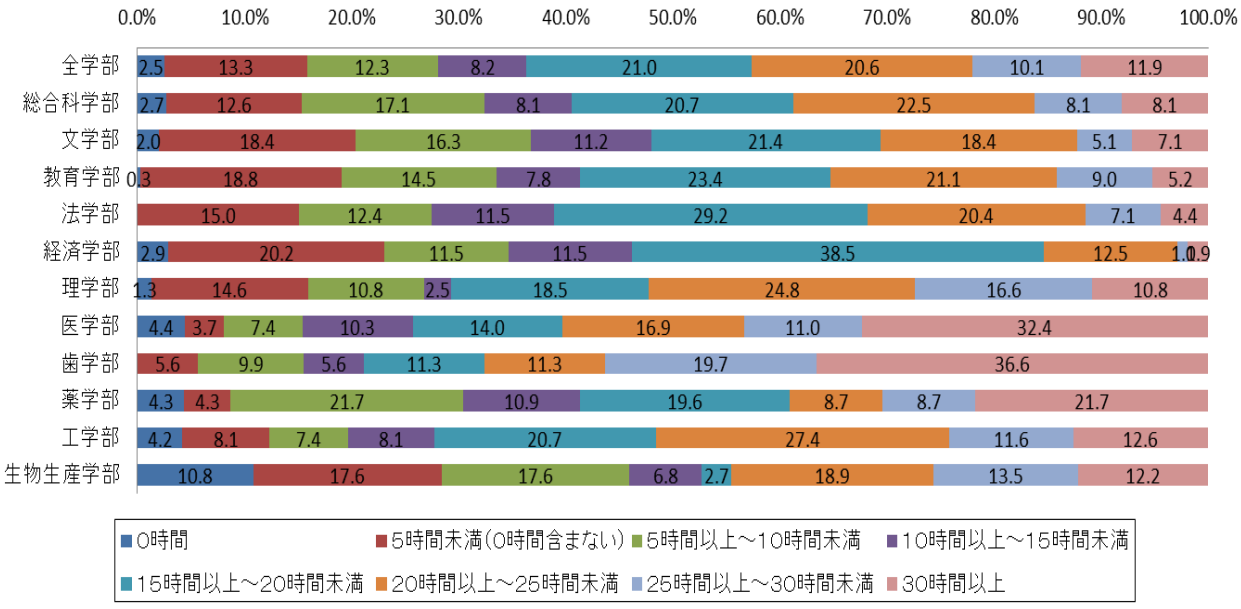
学部別にみた場合でも，多くの学部で娯楽費と回答する比率が4割を超えている。



9　1週間の学習時間

設問 20　授業期間中，平均して1週間でどれくらいの時間を授業（講義・演習・実験・実習若しくは実技）への出席にあてていますか。

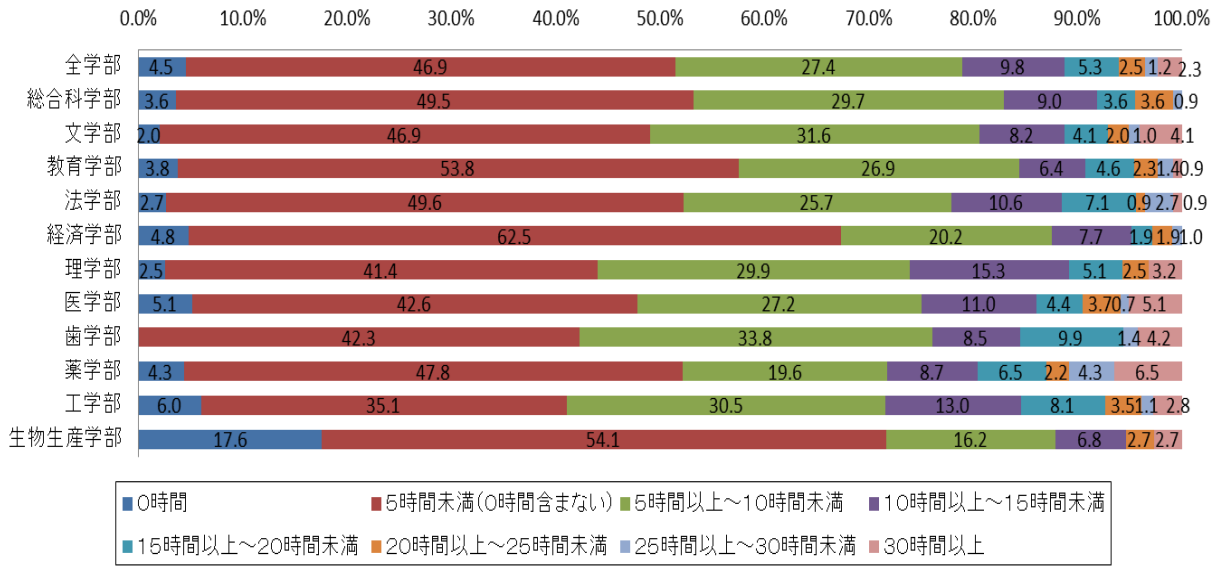
授業への出席にあてる 1 週間の平均時間を全学部で見た場合，多い順に 15 時間以上～20 時間未満 21.0%，20 時間以上～25 時間未満が 20.6%，5 時間未満が 13.3%，5 時間以上～10 時間未満が 12.3%となっている。この傾向は学部によって顕著に差が見られ，歯学部，医学部，理学部，工学部などでは 20 時間以上が過半数を超えている。その一方で，経済学部では 2 割を切り，文学部・法学部などでは 20 時間以上の比率は 3 割程度となっている。これは各学部におけるカリキュラムや必修科目などの多寡が関係しているものと思われる。



設問 21　授業期間中，平均して 1 週間でどれくらいの時間を授業（講義・演習・実験・実習若しくは実技）の課題，準備・復習にあてていますか。

授業の予習・復習にあてる 1 週間の平均時間を全学部で見た場合，多い順に 5 時間未満（0 時間含まない）が 46.9%，5 時間以上～10 時間未満が 27.4%，10 時間以上～15 時間未満が 9.8%などとなっている。この傾向は学部によって差はみられるものの，概ね全学部に共通した傾向と言える。

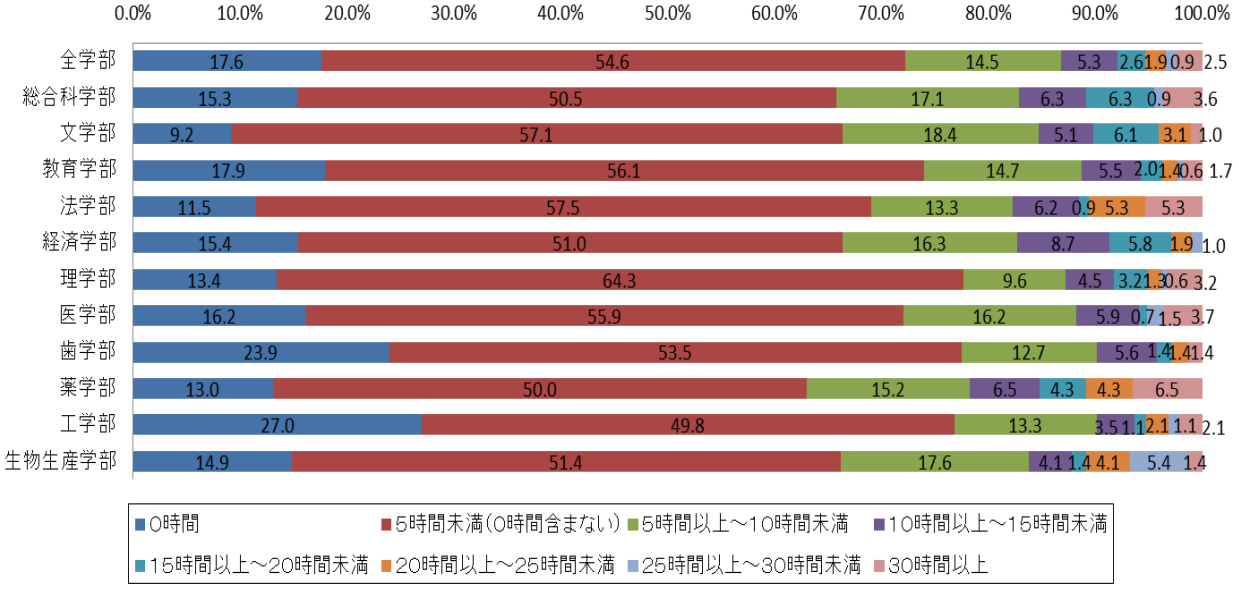
しかし 0 時間と回答した学生の比率は学部によってかなりバラツキがみられた。例えば，生物生産学部では 17.6%に達する。一方で歯学部ではこの値が 0%となっている。また 10 時間以上の予習・復習をしている比率が高いのは，工学部，薬学部，理学部，医学部，歯学部となっており，総じて理系学部に多い傾向がみられた。



設問 22　授業期間中，平均して 1 週間でどれくらいの時間を授業とは関係のない自主的な学習にあてていますか。

授業とは関連のない自主的な学習について，1 週間の平均時間を全学部で見た場合，多い順に 5 時間未満が 54.6%（0 時間含まない），0 時間が 17.6%，5 時間以上～10 時間未満が 14.5%などとなっている。

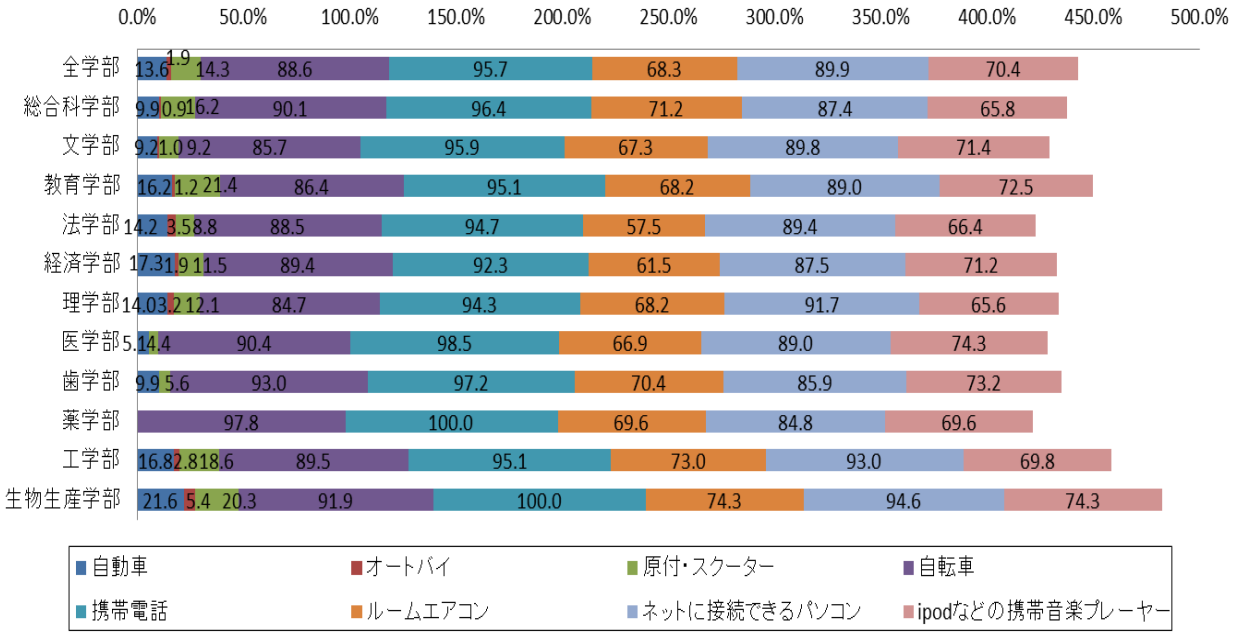
この傾向を学部別に 10 時間以上の自主的学習に注目してみていくと，薬学部，法学部，経済学部，総合科学部，文学部などの順で大きくなっている。



１０　所有もしくは占有している物

設問 23　所有もしくは専用物がありますか。（複数回答可）

学生の所有もしくは専用物については，全体及び学部別ともほぼ前回（H24）と同様の結果である。所有率をみると，移動手段では「自転車」（88.6%），「原付・スクーター」（14.3%），「自動車」（13.6%）であった。「携帯電話」の所有率は前回（H24）と同様に最も高い割合（95.7%）を示し，「ネットに接続できるパソコン」（89.9%），「ipod などの携帯音楽プレーヤー」（70.4%）などと続いている。

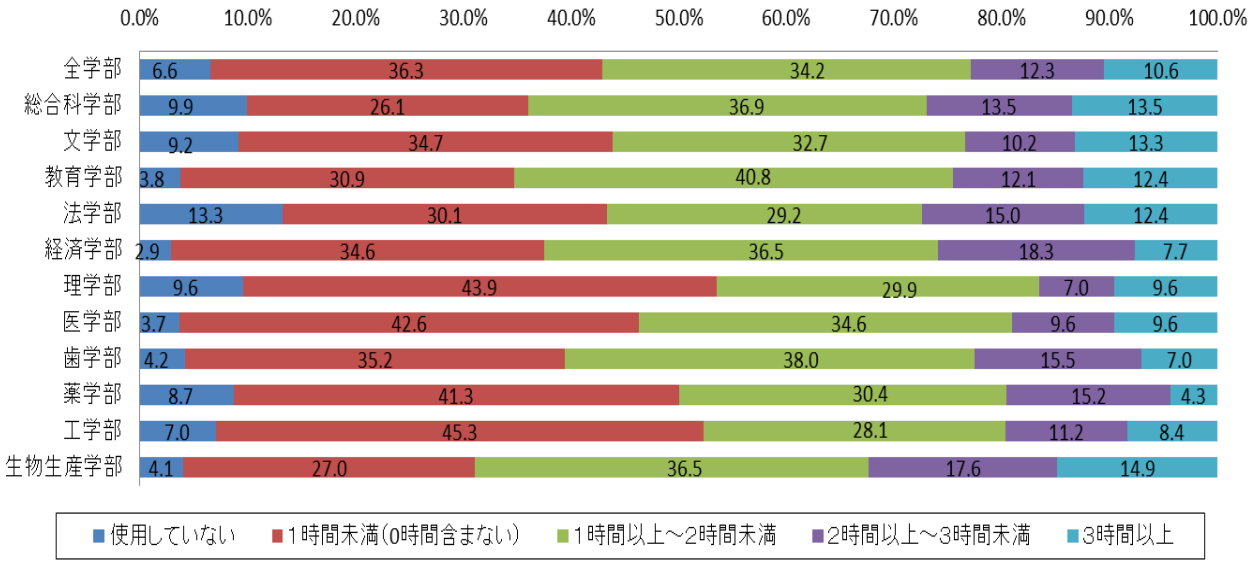


１１　Social Network Service の使用状況について

設問 24　Facebook・LINE・Twitter 等の SNS(Social Network Service)を 1 日でどれくらいの時間使用していますか。

全体として SNS を「使用していない」学生はわずか 6.6%であった。使用時間では，「1 時間未満」（36.3%），「1～2 時間」（34.2%），「2 時間以上」（22.9%）に分かれる。

学部別にみると，法学部で「使用していない」（13.3%）学生がやや多く，生物生産学部で「2 時間以上」（32.5%）がやや多い傾向にある。

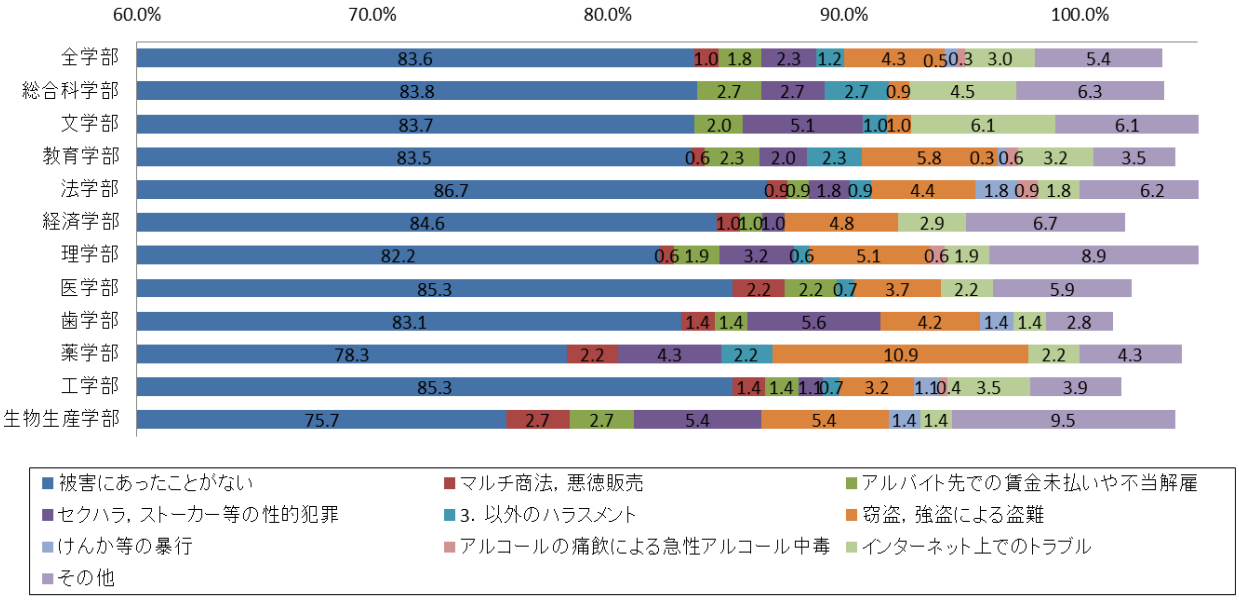


１２　犯罪やトラブルなどの被害経験　（複数回答可）

設問 25　学生生活において，何らかの犯罪や民事上の被害・トラブルを経験したことがありますか。

全体として，何らかの犯罪や民事上の被害・トラブルと経験したことがある学生は 16.4%であり，前回（H24）とほぼ同じ結果であった。学部別にみると，多くの学部で経験者が減少しているが，薬学部と生物生産学部では 10 ポイント程度増えている。

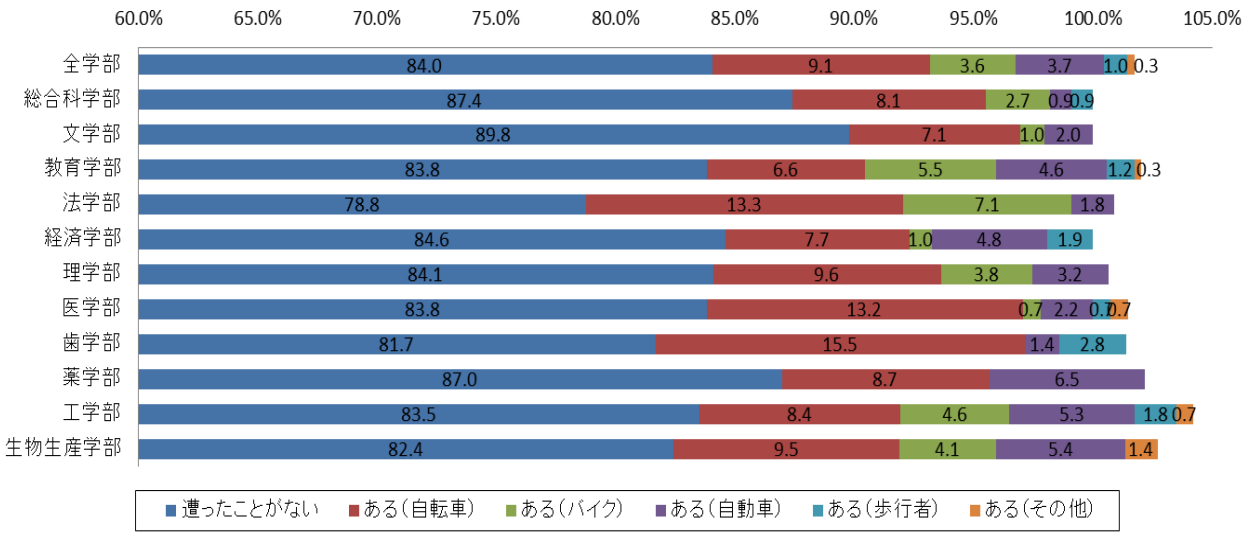
被害・トラブルの内容別にみると，前回（H24）多かった「窃盗，強盗による盗難」（4.3%）はわずかに減少した。今回の調査で加えられた「インターネット上のトラブル」は 3.0%であった。学部別にみると，歯学部で「セクハラ，ストーカー等の性的犯罪」（5.6%），薬学部で「窃盗，強盗による盗難」（10.9%）がそれぞれ増えている。前回（H24）高かった医学部の「セクハラ，ストーカー等の性的犯罪」は 0.0%だった。　※グラフの目盛りの最小値は 60%



１３　交通事故の経験

設問 26　在学中交通事故に遭ったことがありますか。（複数回答可）

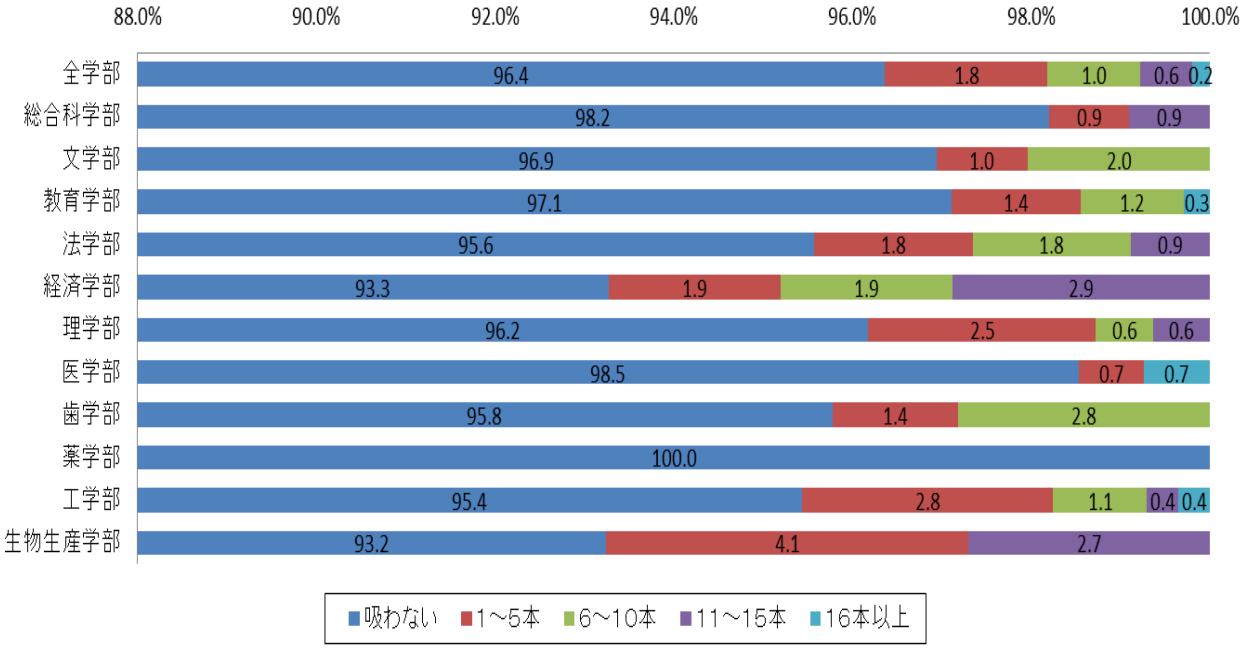
全学部で在学中交通事故遭遇の内訳は，自転車事故 9.1%，バイク事故 3.6%，自動車事故 3.7%，歩行車事故 1.0%，その他 0.3%である。事故の多くは自転車，バイクによるものであるが，工学部，生物生産学部ではバイク事故とほぼ同等の自動車事故が生じている。一層の注意喚起を促したい。
※グラフの目盛りの最小値は 60%



１４　喫煙及び飲酒の習慣

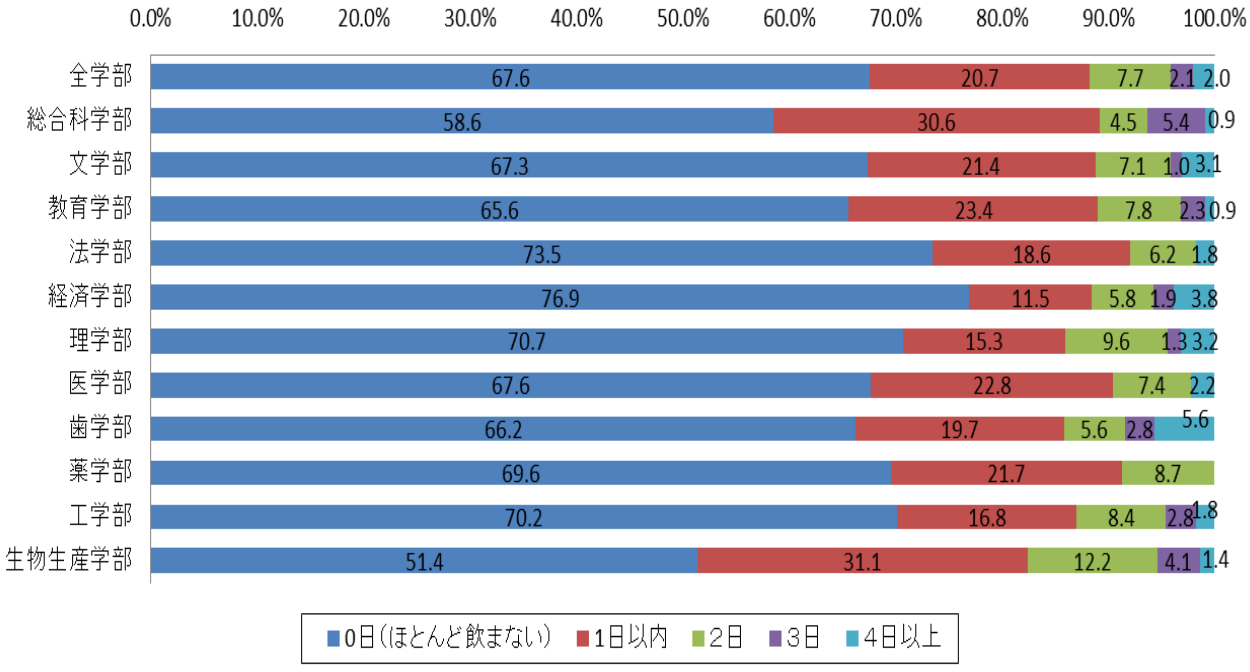
設問 27　喫煙の習慣がありますか。1 日に吸う本数をお答えください。

習慣的に喫煙している者について，これまでの調査では，H20 年度 7.0%，H22 年度 5.9%，H24 年度 3.9%と，その割合は年々減少していた。今回調査では，現在習慣的に喫煙している者の割合は，3.6%であり，前回調査と変わらなかった。 1 日に 16 本以上吸う者の割合は，0.2%であり，前回と比べてその割合は変わっていない。　※グラフの目盛りの最小値は 88%



設問 28　飲酒の習慣がありますか。1 週間に飲む日数でお答えください。

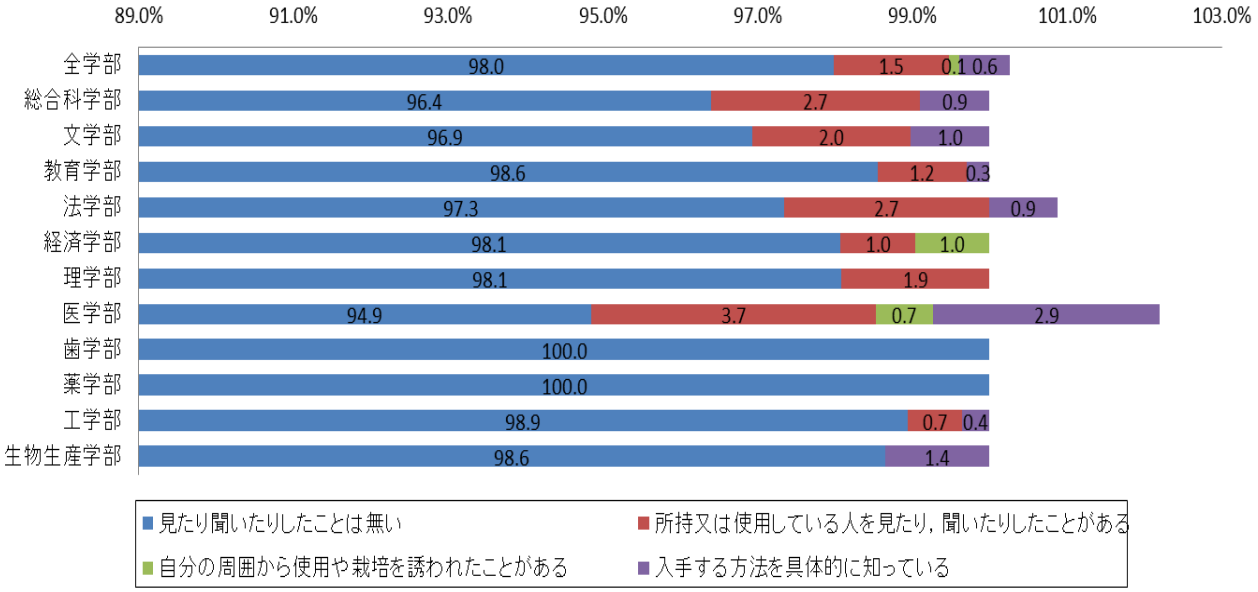
週 3 日以上飲酒習慣のある者の割合は，4.1%であり，前回と比べてその割合は変わらない。約 3 分の 2 の学生は，飲酒の習慣はないと回答している。



１５　薬物（大麻等・覚醒剤）や危険ドラッグ等について

設問 29　薬物（大麻等・覚醒剤）や危険ドラッグ等について，該当するものを選択してください。（授業・研究目的のものは除く）（複数回答可）

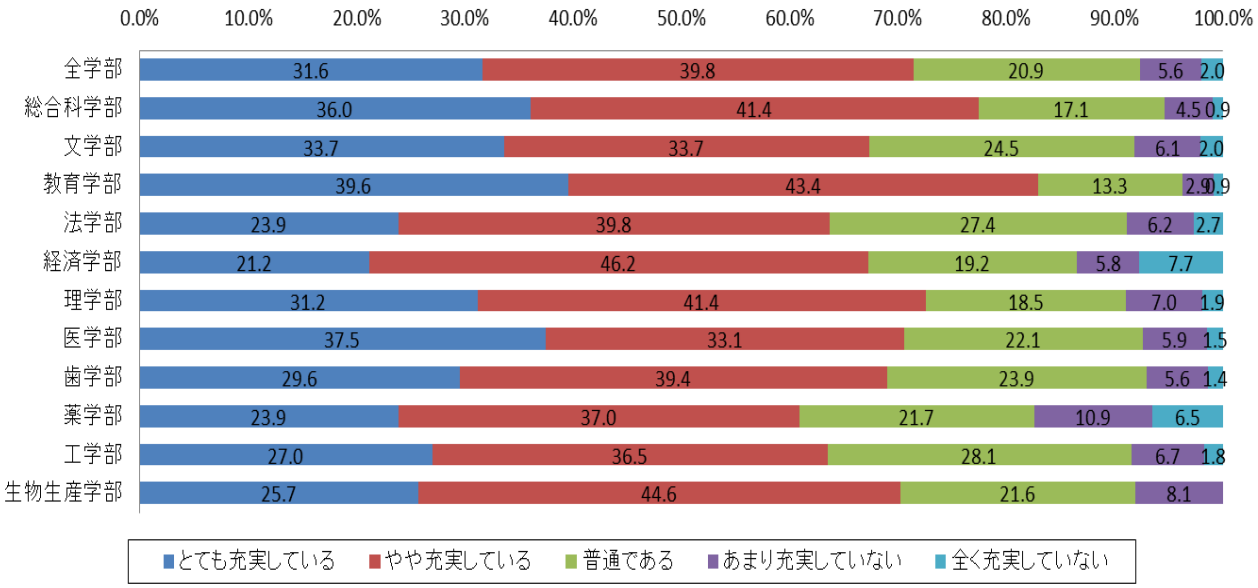
薬物（大麻等・覚醒剤）や危険ドラッグ等について，98.0%が見たり聞いたりしたことはないと回答しており，前回 97.8%と同様の結果であった。しかし，「所持又は使用している人を見たり聞いたりしたことがある者」1.5%，「自分の周囲から使用や栽培を誘われたことがある者」も 0.1%存在する。　※グラフの目盛りの最小値は 89%



１６　授業以外の学生生活の充実度

設問 30　授業以外の学生生活を充実して過ごしていますか。

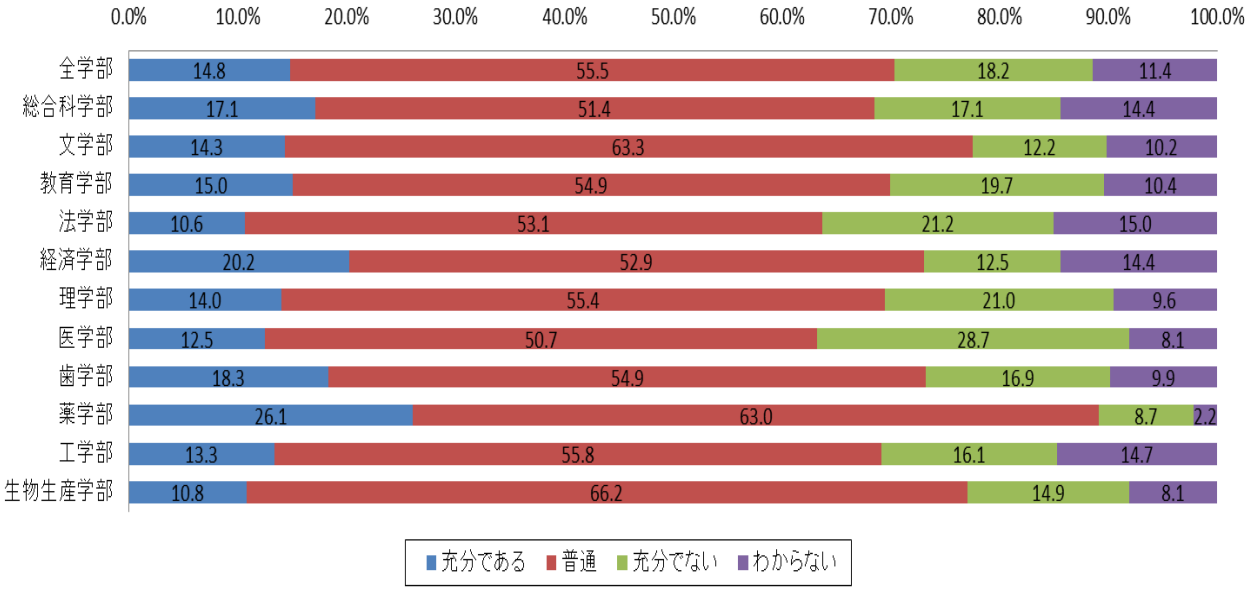
全学部では「とても充実している」「やや充実している」を合わせると71.4%であり，前回調査とほぼ同様の結果である。「あまり充実していない」「全く充実していない」と回答したのは7.6%であるが，薬学部，経済学部では，それぞれ17.4%，13.5%とやや高値である。



１７　授業以外の学生生活に対する大学のサポート体制やサービス

設問 31　授業以外の学生生活に関して，大学側のサポート（支援）体制やサービス内容・メニューは，全般的に見て充分だと思いますか。

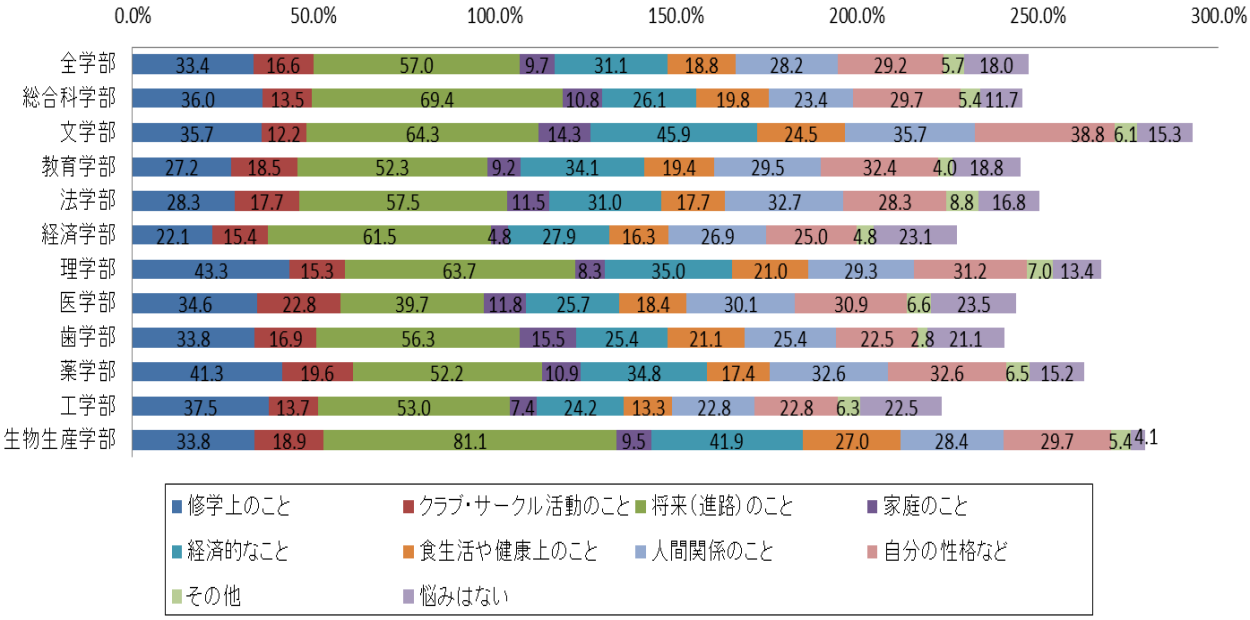
全学部では「充分である」14.8%，「普通」55.5%，「充分でない」18.2%，「わからない」11.4%で前回調査とほぼ同様の結果であり，全体的にはサポート体制やサービスに変化は認められない。薬学部では「充分である」26.1%と高値である。



１８　学生生活の悩み

設問 32　学生生活の中で悩みがありますか。（複数回答可）

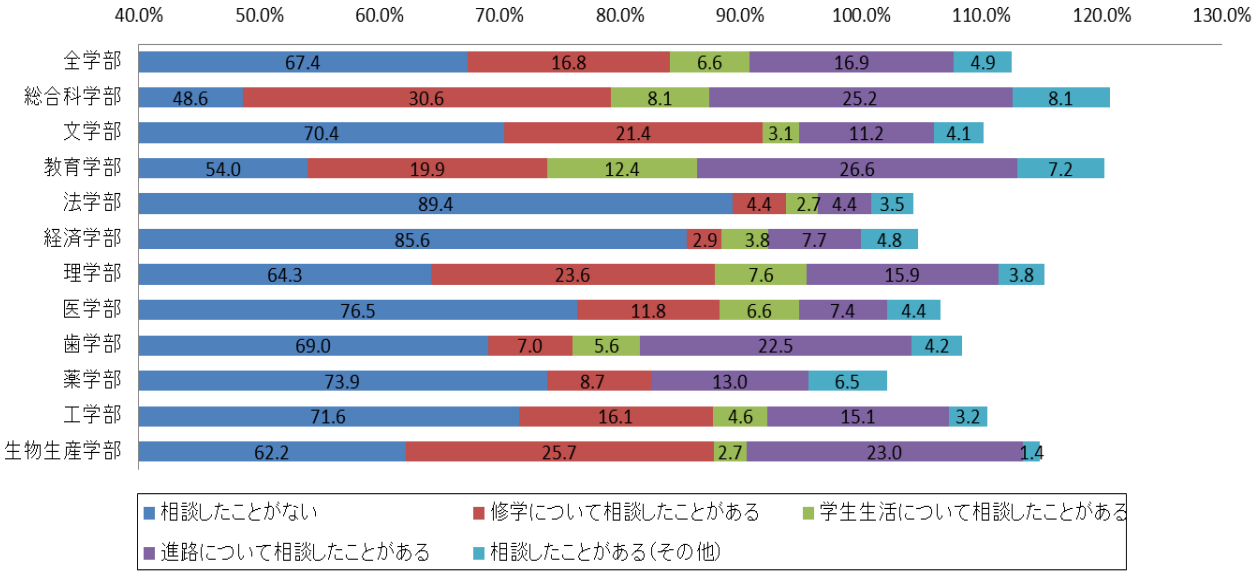
学生生活の中で感じている悩みの理由として，「将来（進路）のこと」と回答した者の割合が最も高く，57.0%であり，前回同様，過半数の学生が将来に不安を抱いている状況が続いている。次に「修学上のこと」33.4%，「経済的なこと」31.1%，「自分の性格」29.2%，「人間関係」28.2%と続いている。



１９　チューターへの相談と相談内容

設問 33　修学や学生生活に関して相談するチューター教員がいますが，チューターに相談したことがありますか。相談したことがある場合は，相談内容を選択してください。（複数回答可）

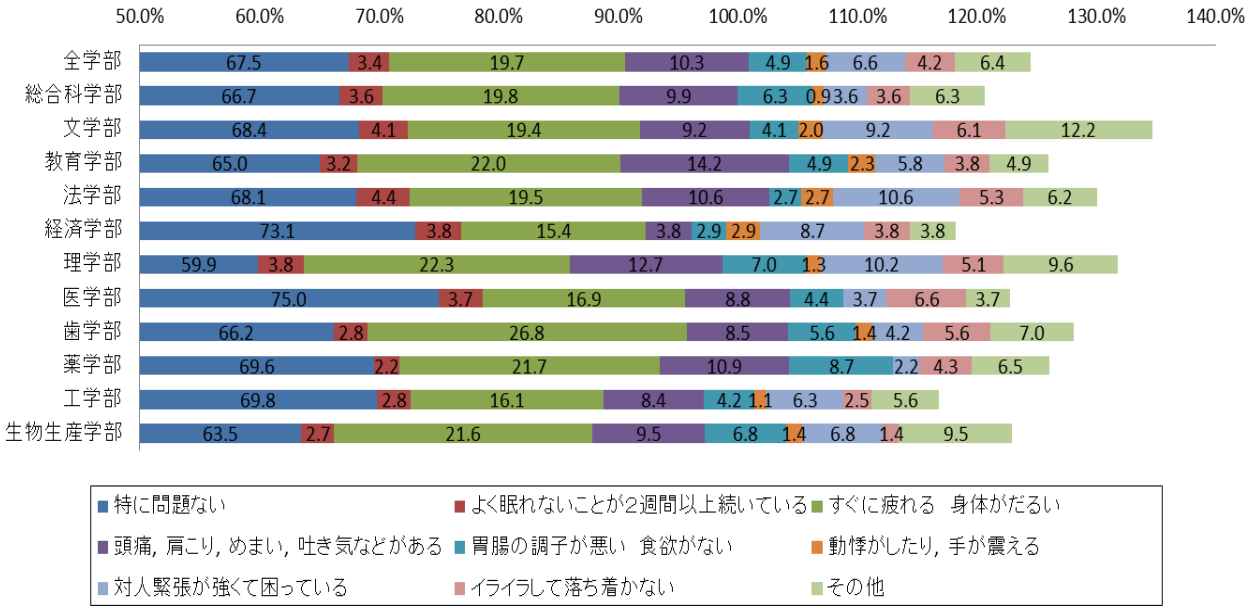
チューターに相談した経験がある者の割合は，全体で 32.6%であり，前回と変わらなかった。また学部によってのばらつきも，前回とほぼ同様であったが，総合科学部は，前回の 27.8%から今回 51.4%と，履修相談制度の改革に伴い，チューターへの相談経験があると回答した者の割合が大きく増加している。相談内容で多いのは，進路と修学についてであり，前回と変わっていない。
※グラフの目盛りの最小値は 40%



２０　現在の健康状態

設問 34　現在の健康状態はどうですか。（複数回答可）

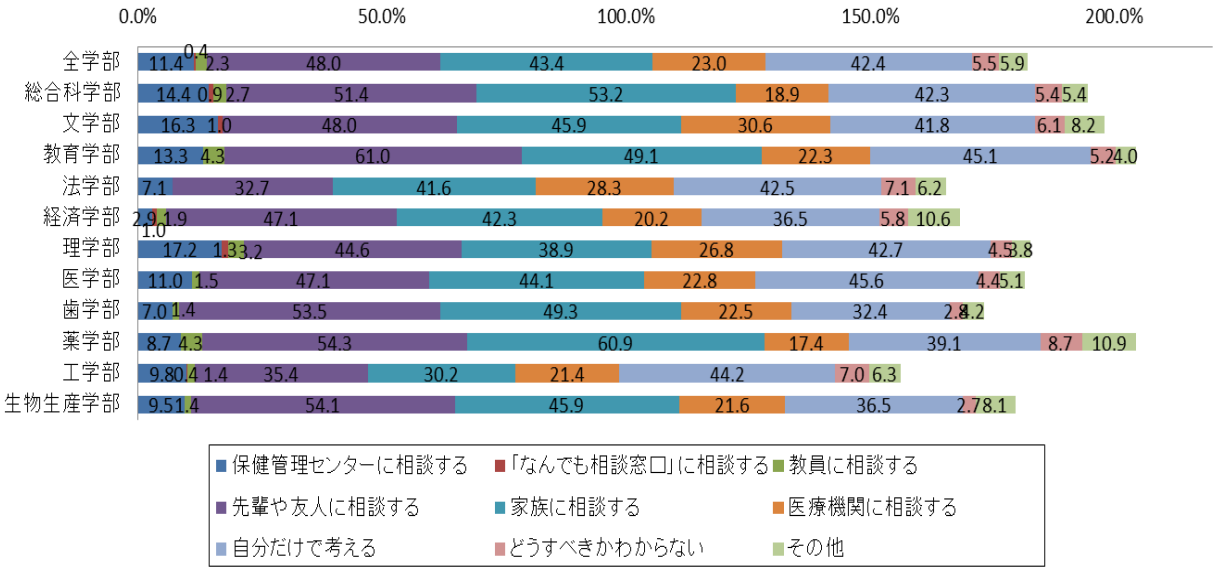
現在の健康状態について，特に問題ないと回答した者の割合は，67.5%であり，前回と変わらない。不調として「すぐに疲れる・身体がだるい」と回答した者の割合が最も高く，19.7%であり，前回 18.3%より若干増加している。上位を占める不調は，「頭痛・肩こり等」10.3%，「対人緊張が強い」6.6%，「胃腸の調子が悪い」4.9%であり，前回と同様であった。　※グラフの目盛りの最小値は 50%



２１　身体面・心理面の悩みの解消

設問 35　身体面，心理面で何か悩みが生じた場合には，解消に向けてどうしますか。（複数回答可）

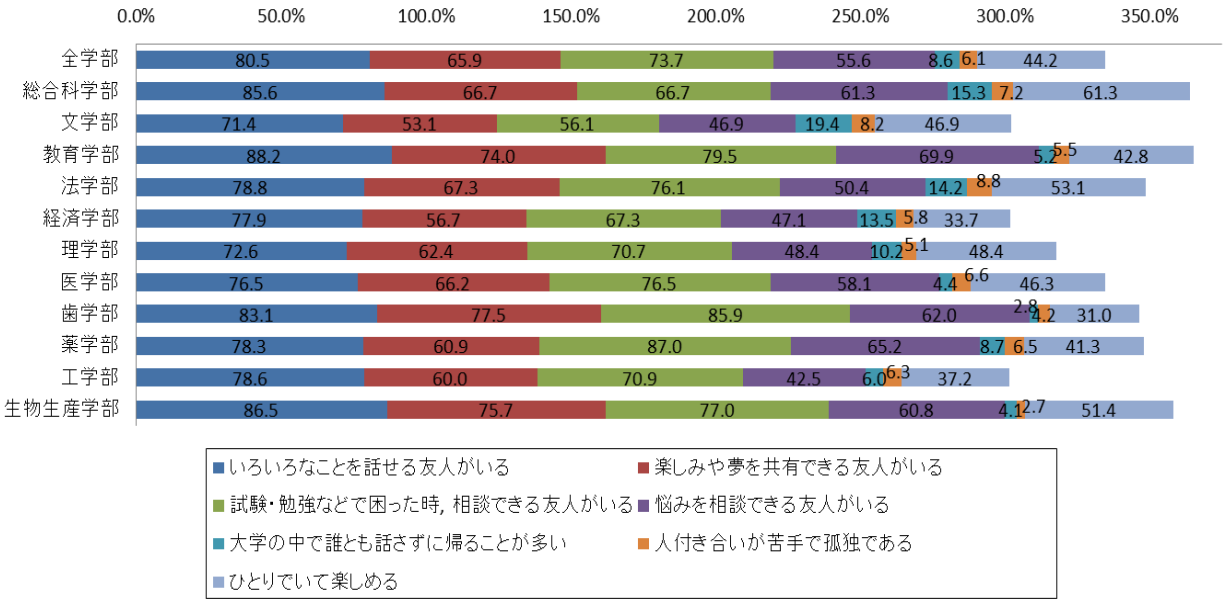
身体面・心理面で悩みが生じた場合に相談する相手として，「先輩や友人」と回答した者の割合が最も高く，48.0%であった。次に「家族」43.4%，「医療機関」23.0%，「保健管理センター」11.4%，「教員」2.3%であり，前回調査と同様の傾向であった。「自分だけで考える」と回答した者の割合は，42.4%であり，前回 40.7%に比べて若干増えている。



２２　友人との関係

設問 36　友人についてお尋ねします。（複数回答可）

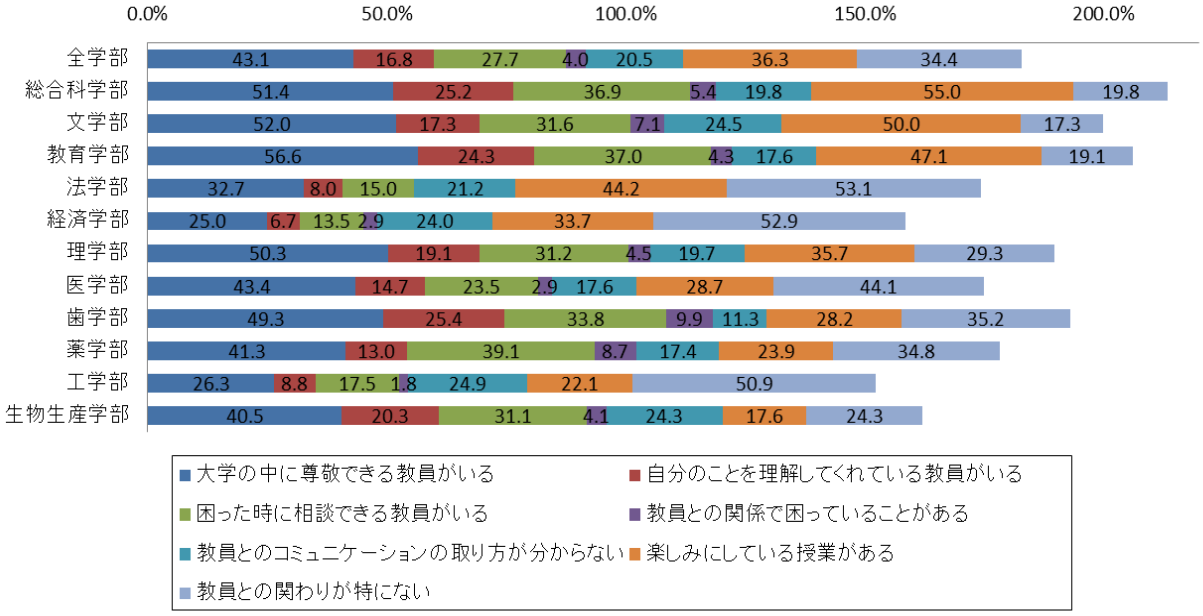
友人との関係について，「いろいろなことを話せる友人がいる」80.5%，「試験・勉強などで困ったとき相談できる友人がいる」73.7%，「楽しみや夢を共有できる友人がいる」65.9%，「悩みを相談できる友人がいる」55.6%であり，前回と同様の傾向であった。一方で，「大学の中で誰とも話さずに帰ることが多い」8.6%であり，前回 7.2%から若干増えている。



２３　教員との関係

設問 37　教員についてお尋ねします。（複数回答可）

全学部では「尊敬できる教員がいる」43.1%，「自分のことを理解してくれている教員がいる」16.8%，「困った時に相談できる教員がいる」27.7%，「楽しみにしている授業がある」36.3%と，教員との関わりを肯定的に捉えている学生が多い一方で，学部によっては「教員との関わりが特にない」とする学生が50%を超える学部もある。大学では学生自身の積極的姿勢が必要であり，その中で教員と関わる機会を増やしていくよう期待したい。

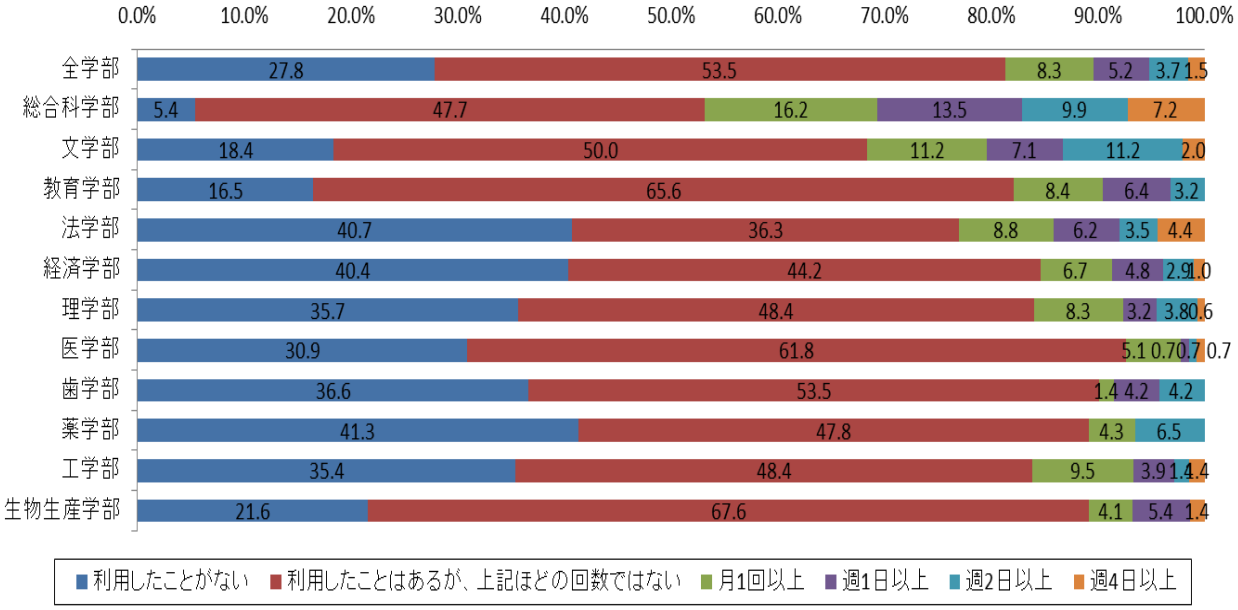


２４　学生交流スペースの利用

設問 38　「学生プラザ 1 階のフリースペース」や西第 1 福利会館の集会室を利用したことがありますか。

全体の 72.2%が利用したことがあり，前回調査よりも 20%程利用者が増えている。選択肢として「利用したことはあるが，上記ほどの回数ではない」を追加したことも原因と考えられる。

学部別では，「学生プラザ」，「西第 1 福利会館」に近い総合科学部が利用頻度が高く，法学部，経済学部，理学部，工学部の利用者は少ない。また，東広島キャンパスに 1 年次しかいない医学部，歯学部，薬学部の利用者も少ない。この結果は前回調査と同様の傾向である。

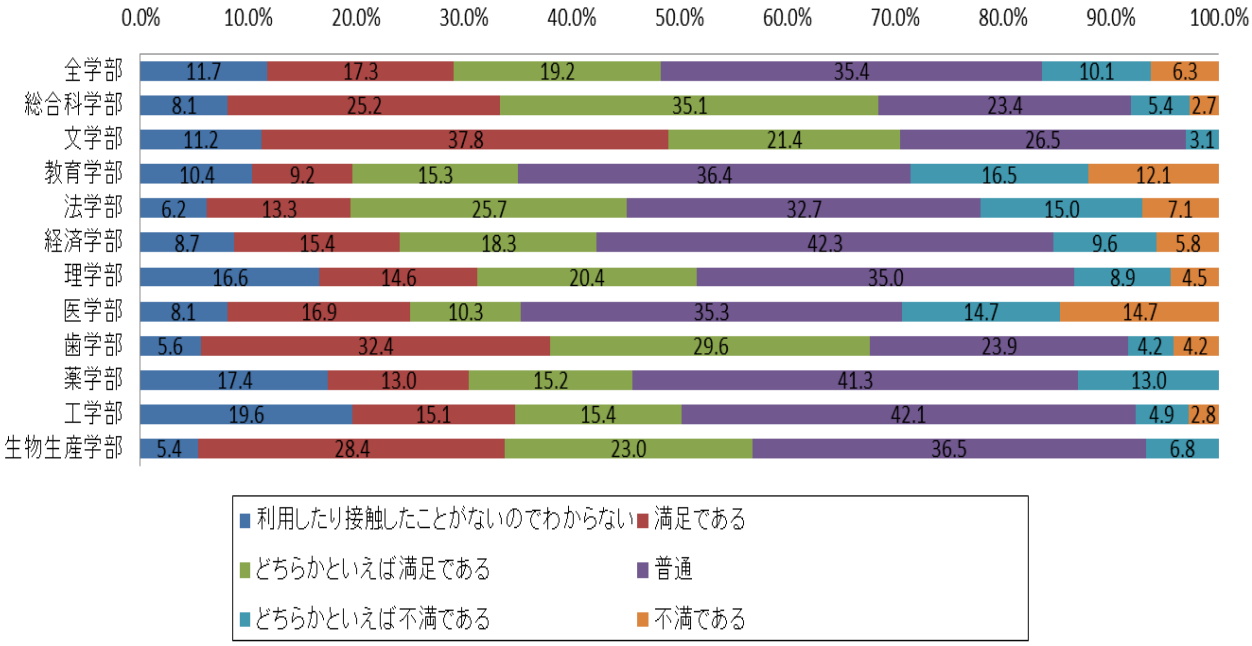


２５　所属学部の学生支援室の対応

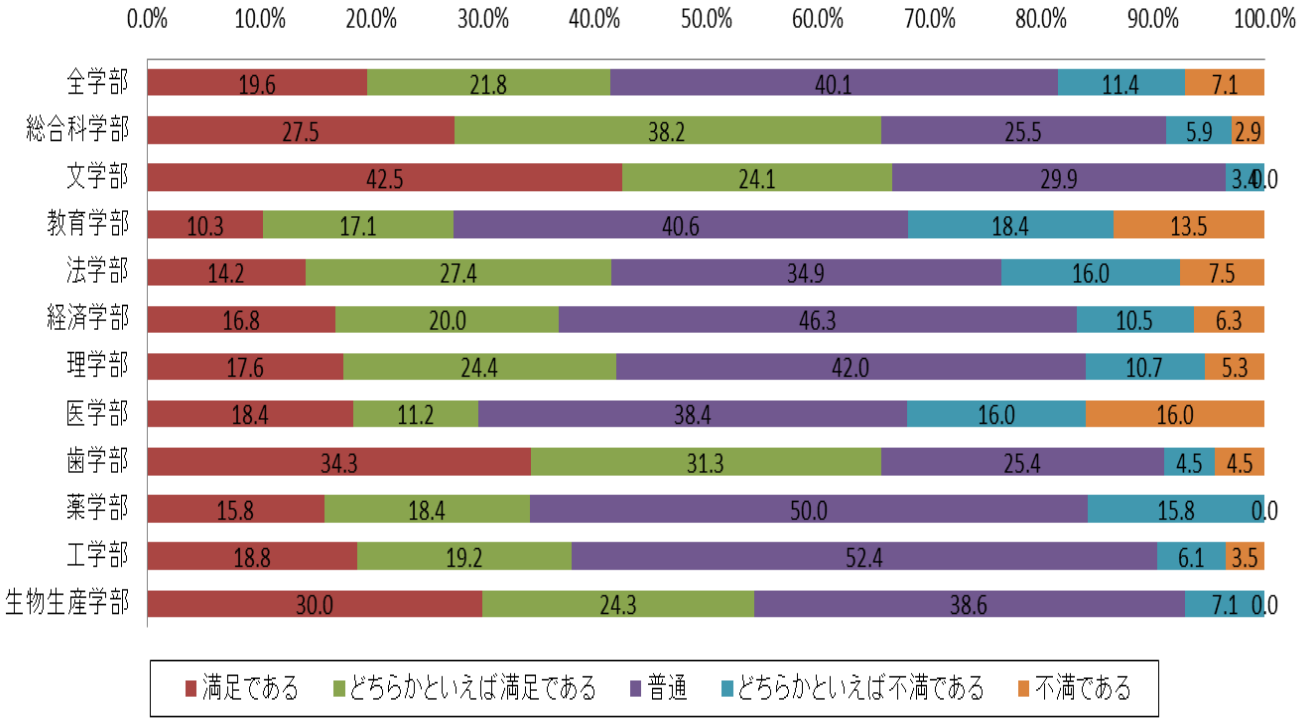
設問 39　所属学部・研究科の学生支援室の対応について，印象や満足度を教えてください。

全体の 88.3%（グラフ 1）が学生支援室を利用したり接触したりしているが，そのうち「満足である」「どちらかといえば満足」と回答したのは 36.5%である。また，利用したことがある者のうち「満足である」「どちらかといえば満足」と回答した割合（グラフ 2）が高いのは，文学部（66.6%），総合科学部（65.7%），歯学部（65.6%）であり，文学部，歯学部では「満足である」と回答した割合が高い。一方，「不満である」「どちらかといえば不満」と回答した割合（グラフ 2）が高いのは，医学部（32.0%），教育学部（31.9%）であり，前回調査の傾向と同様である。

【グラフ 1（利用したことがない者を含む）】



【グラフ 2（利用したことがある者のみ）】

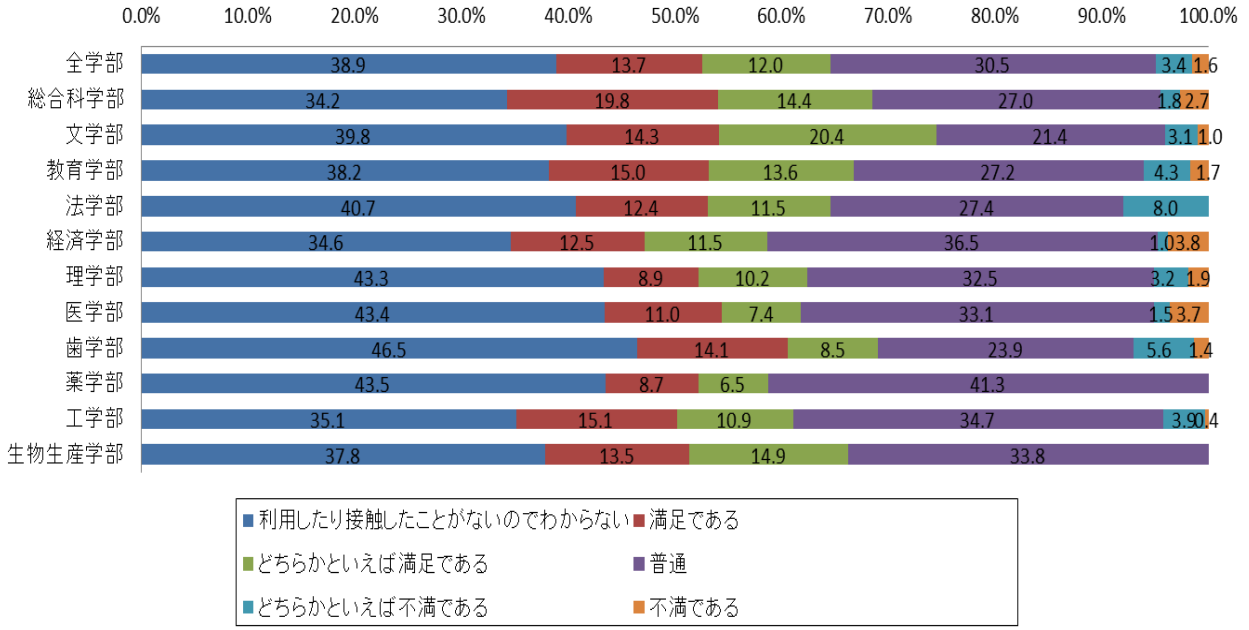


２６　学生プラザの学生支援部門の対応

設問 40　学生プラザの学生支援部門の対応について，印象や満足度を教えてください。

全体の 61.1%が学生プラザの学生支援部門を利用したり接触したりしており，前回調査よりも 3.5%減少している。東広島キャンパスに 1 年次しかいない医学部，歯学部，薬学部は利用したり接触したりした割合が低い。

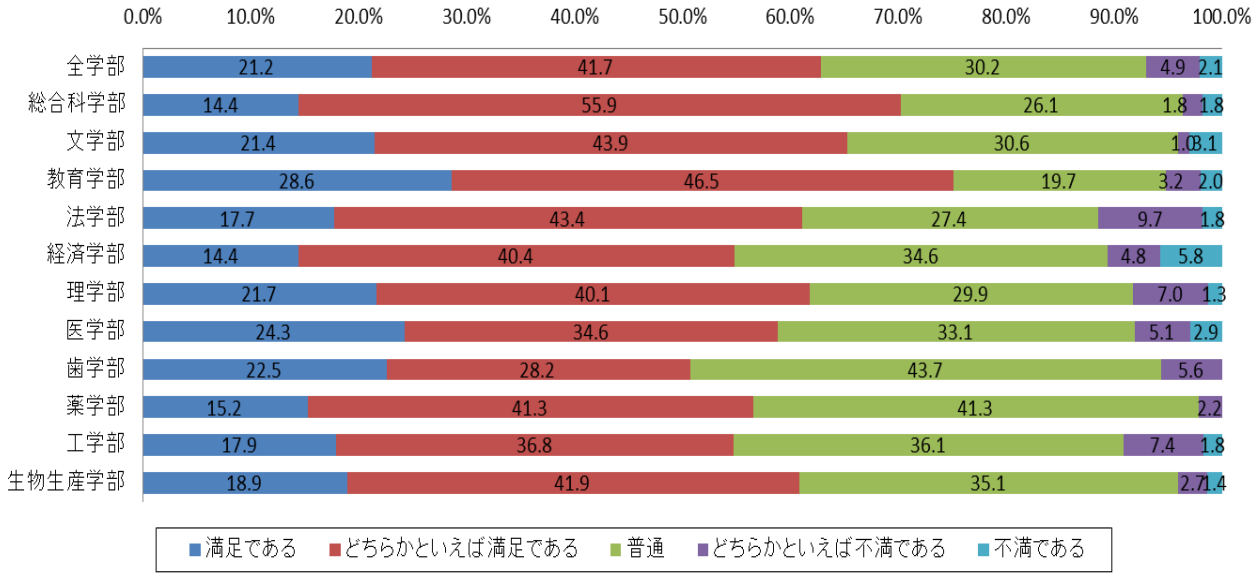
また，「満足である」，「どちらかといえば満足」と回答した割合と「不満である」「どちらかといえば不満」と回答した割合は前回調査とほぼ同様の傾向がみられる。



２７　本学の教育・学習，学生生活などの全体的な満足度

設問 41　本学での教育・学習，学生生活などに関して，全体として「良い」，「楽しい」と感じるなど，満足していますか。

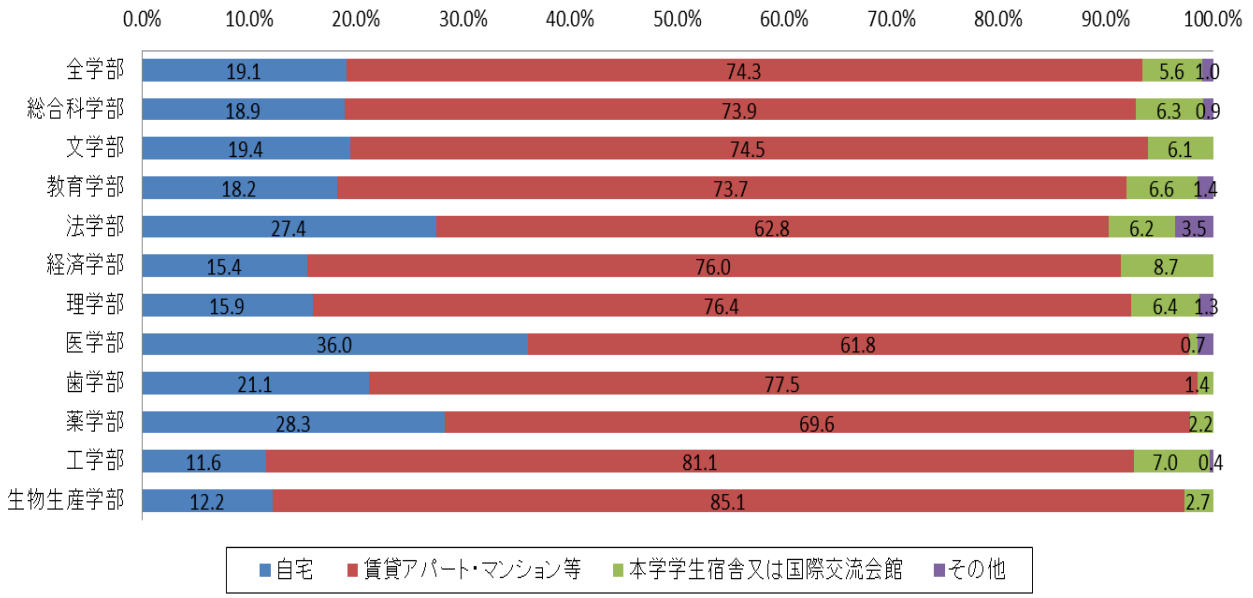
全学部では「満足である」「どちらかといえば満足」62.9%で，前回調査59.2%からやや増加している。総合科学部，教育学部では70%を超えている。一方，「どちらかといえば不満である」「不満である」併せて10%を超える学部もある．全体としては前回調査とほぼ同様である。



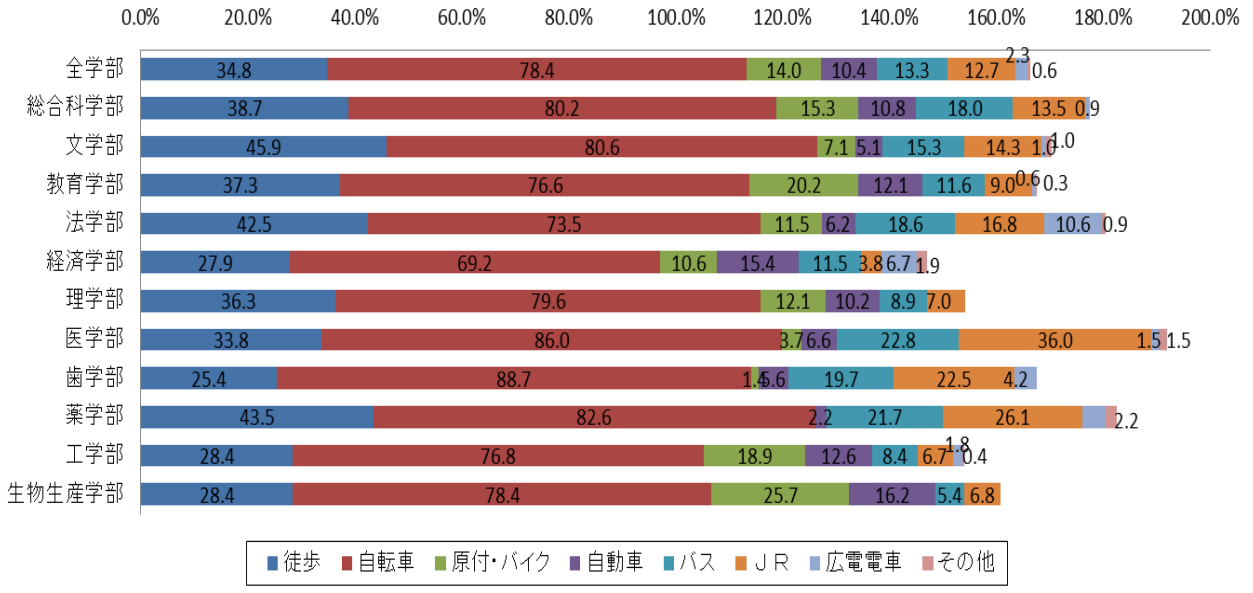
２８　居住形態

設問 42　居住形態を教えてください。

西条キャンパスの学部では「賃貸アパート・マンション等」の割合が80%前後と高く，霞キャンパス，東千田キャンパスでは「自宅」の割合が30%前後と高くなっており，前回調査と同様の結果である。



２９　通学方法

設問 43　通学方法を教えてください。（複数回答可）

全学部では「徒歩」34.8%，「自転車」78.4%，次いで「原付・バイク」14.0%，「バス」13.3%，「JR」12.7%，「自動車」10.4%となっている。霞キャンパスでは「JR」「バス」の利用が高値となっている。